

團旗奉戴式と記念大講演會

軍人には聯隊旗  
團員には本國旗

- 一、十一月三日 明治節 午後正三時
- 一、東京府品川町妙國寺に於て
- 統一團本部團旗奉戴式舉行

一、同六時より同本堂に於て

記念大講演會開催

- 滿蒙より歸りて國民に告ぐ  
貴族院議員 男爵 井上清純閣下
- 滿蒙問題に就て  
陸軍次官補佐 陸軍中將 秦 眞次閣下

主催 統一團本部  
知法 思國會  
後援 帝國在郷軍人會品川分會  
品川青年團

價定一統	
一冊	金貳拾錢
半冊	金壹圓貳拾錢
一ヶ年	金貳圓貳拾錢
送料共	送料共
送料五厘	送料五厘
事之金前	事之金前

料告廣一統			
表紙	一頁	貳拾	圓
一頁	拾	五	圓
半頁	九	圓	圓
四分	五	圓	圓
一頁	五	圓	圓
事之金前			

昭和六年十月廿四日印刷納本  
昭和六年十一月一日發行 (第四百四十號)

製復許不

編輯兼 發行所 神奈川縣橫濱市磯子區磯子町廣地一四八  
印刷人 磯部 滿事  
印刷所 東京府荏原郡品川町南品川百八十一番地  
電話高輪六〇二四番

發行所 統一發行所  
編輯事務ハ發行所ニテ取扱フ

目次

聖訓摘要……………聖應院日生上人

自界叛逆難他國侵逼難……………四王天延孝

記事

- 統一團協賛會々報
- 各地宗祖御遠忌大法要
- 本部特別講演會
- 通信欄
- 誌料領收

號月二十年六十三第

統一





# 聖訓摘要

## 聖應院日生上人

それからその次に

本國へかへし給へと高き山にのほりて大音聲を  
はなちてさけびしかば、九月の十二日に御勸氣  
十一月に謀反のものいてきたり。かへる年の二  
月十一日に日本國のかため(誓固)たるべき大將  
どもよしなく打子ころされぬ。天のせめといふ  
事あらはなり。此にやをどろかれけん弟子ども  
ゆるされぬ。而どもいまだゆりざりしかばいよ  
いよ強盛に天に申せしかば、頭の白キ鳥とび來  
りぬ。彼の燕ノたむ(丹)太子の馬鳥のれい(例)  
日藏上人の山がらすかしらもしろくなりにけ  
り、我かへるべき時やきぬらんとながめし此レ  
なりと申シもあへず。文永十一年二月十四日の

御赦免狀同三月八日に佐渡の國につきぬ。同十  
三日に國を立ちてまうら(新羅)というつ(津)に  
をりて十四日はかのつにとどまり。同十五日に  
越後の寺どまり(泊)のつにつくべきが。大風に  
はなたれさいわひ(幸)ふつかち(二日程)をすぎ  
てかしはさき(柏崎)につきて。次ノ日はこう  
(國府)につき十二日をへて三月二十六日に鎌倉  
へ入りぬ。同四月八日に平ノ左衛門ノ尉に見參  
す。本よりこせし事なれば日本國のほろびんを  
助けんがために三度いさめんに御用ひなくば、  
山林にまじわるべきよし存せしゆへに同五月十  
二日に鎌倉をいでぬ。但し本國にいたりて今一  
度父母のはかをもみんとをもへども、にしきを

きて故郷へはかへれといふ事は内外のをきてなり。させる面目もなくして本國へいたりなば不孝の者にてやあらんずらん。これほどのかたかりし事だにもやぶれてかまくらへかへり入ル身なれば。又にしきをきるへんもやあらんずらん。其時父母のはかをもみよかしとふかくをもうゆへにいまに生國へはいたらねども。さすがこひしくて吹く風立ツくも(案)までも東のかたと申せば庵をいてて身にふれ庭に立ちてみるなり(續前遺文註)

まことに聖人の思召がよく現はれて居る譯であつて、どうしても生きて鎌倉に還つて見せるといふ決心の爲めに熱心にそれを祈られた、高き山に登つて高聲に梵天三寶に祈誓を籠められた、「本國にかへし給へと高き山にのぼりて大音聲をはなちてさけびしかば」とありますから、非常な熱心を以て日蓮聖人はどうぞ生きて鎌倉に還して戴きたいといふことを

た、けれども日蓮聖人は免されなかつたのである、そこで日蓮聖人は一層強情に「本國へかへし給へ」と御祈念遊ばされた、所が不思議なことに日蓮聖人の佐渡の禰所へさして頭の白い鳥が飛んで来たと言つてお出でになります、これも事實のことでありまゝすから能く記憶して置きたいと思ふのであります、不思議な事である、日藏上人が

山がらすかしらも白くなりけり

わがかへるべき時やきぬらん

と詠まれたことがありますが、丁度日蓮も最早や赦さるべき時が来たナと考へて居つた、所が果せるかな文永十一年の二月十四日に御赦免狀を認められたのが三月八日に佐渡ヶ島に着いた、そこで僅か五日の後十三日に佐渡を立つて、途中を經過して三月二十六日に鎌倉に歸つて來られた、四月の八日に平ノ左衛門、さきにはあらく日蓮を捕へた頼綱が來て、一度殿中にお來てを願ひたいといふので鎌倉の殿中

願はれたものであります、これを佐渡の坊さん共が鎌倉を呪咀するといふので鎌倉に使を出しました、日蓮は毎日高い處に登つてさうして鎌倉の滅亡を祈つて居るものである、あんな者は今のまゝ捨て置いてはいかぬ、叩き斬つてお仕舞ひなさいといふことを以て鎌倉に讒訴をしました、鎌倉では日蓮聖人の問題は多少忘れられて居つたに、日蓮聖人のことを佐渡から又復讐言して來たものだからこれを調べることになりました、所が日蓮聖人の言はれたことがだんだん合つて來る、安國論にある所の内亂といふことが一つあつて、これは東北の津輕の方を治めて居つた鎌倉から派遣して居つた大將が殺されてしまひました、そこで驚いて、成程日蓮の言ふやうにこれは天の責かも知れないといふやうなことで、日蓮聖人の弟子の牢に入れて居つた者をも免したのであります。これは日蓮聖人の佐渡流罪と同じやうに五人の人を土の牢に入れて居りましたが、それを免し

に行かれた、時宗は御簾の裡から日蓮聖人のお話を聴いて居つたのであります、その時にまた強く鎌倉殿を誅められたのであります。けれども用ゐないからして遂に身延の方に御隠棲になつたのである、そこで恰度鎌倉に歸つた時に、一度父母の墓参りに行きたいと思つたけれども、錦を着て故郷へ還るといふことがあるのに、今度は佐渡から歸つたばかりでお墓にお参りするの如何かと考へて、それも鎌倉はどうしても赦さぬと云うて居つたのに日蓮が還つて來たことから考へると、今後錦を着る時もあるであらうと思ふ、これがこの一節の中の肝腎な點であります。「これはどのかたかりし事だにもやぶれて」これはどうしても赦さぬと決心して居つて、それが破れて「鎌倉へかへり入る身なれば」日蓮が勝つた、どうしても還さぬといふて居つた鎌倉が負けて日蓮が生きて鎌倉に歸つたのでありますからして、それから考へると今は用ゐられないのであるけ

れども、後には錦を着る時であらうか、その時には父母のお墓参りをしたいと考へた、けれどもその時がなかなか容易に來ない、これは非常に大切な點で、日蓮聖人が身延に入られたのはまるきり隠居せられたのではないといふことを強く考へて置かなければならぬ、遂に隠居のすがたのまゝ了つたけれども、それは鎌倉が覺らなかつたからで、日蓮聖人はあれで樂隠居したといふやうな譯のものではない、前にもある通り錦を着る時であらう、いつかは鎌倉が覺る時があるであらうといふので、蒙古來の時にでもなれば鎌倉が一時覺るだらうといふ望みを起して居られた、遂にその時なくして御終末になつたら弟子は熱心にその書かれたものに依つて日蓮聖人の目的を達成しやうとした、日蓮聖人が生前目的を達せないといふ事に依つて、弟子はその目的を達しやうといふのでズツとその後に續いて來たのである、日蓮聖人の豫算は外れて居る、それは日蓮聖人

が悪い爲めではない、外れたといふのは日本國家の爲めまことに慨嘆すべき事である、それが日蓮聖人の豫算の通りに行けば、政權を朝廷に返して、さうして國民の思想を法華經に依つて統一をして、今日かやうなマゴ／＼するやうな事のないやうに、世界第一の國に早く／＼なつて居たかも知れぬ、そこまで行かぬのは日蓮聖人の考が實現されなかつたので、そこちやから「湖底の長松良匠を得ず」といふ、谷間に生えた立派な木が良い大工に見付からぬ爲めに建築に用ゐられて居らぬ「夜光の名珠函を出でず」よき珠は箱の中に藏つてあつてまだ世の中を照して居らない、といふことを日蓮聖人も言うて居るのである、それが必要である、たゞ日蓮聖人の木像を拵へて拜んで居るといふやうな譯のものではない、日蓮聖人の理想を國家社會に實現させれば聖人はお喜びなされることである（無手起る）それ故にその時が來るか／＼と思ふけれどもなかなか來ない、さう

してお墓参りが延びて行くものだから、さすがは故郷のここの戀しくて「吹く風立つくも」、東の方から風が吹いて來る、東の方から雲がとんで來るたびに日蓮はいつでも、ア、この風は房州の父母のお在でなる處から吹いて來た風であると思つて房州を戀しく思ふ、この點に於ては或る歴史家などは、彼處から房州は見えないといふので、私が林中將と行つた時分も、思親閣に登つて房州の方を見て父母を戀しがつたことは嘘でせうと林中將も言うて居つたけれども、私はさうも考へない、あんな高い處に登つたか登らぬかはそれは判りませぬけれども、庵を出てさうしてそれを墓ふたといふことは眞實で、これは間違ないと思ふ、さすがこひしくて吹く風立つ雲までも東のかたと申せば庵をいでて身にふれ庭に立てみるなり、東から吹いて來た風、ア、この風は父母の居ます故郷の方から吹いて來た風だと思つては喜び、雲が出ると庭に出て、ア、あの雲は房州

からとんで來たのかと思つては房州を戀しく思ふ、身延の山から房州の山が見える見えぬといふことは問題ではない、とてもあそここの山から房州を見ようとしても、房州の山は低い上にその間には笹子峠のやうな高い山があつて、なかなか房州は見えない、けれどもこゝに現はれて居る父母を慕はれる御精神初め佐渡ヶ島に流されてからお墓参りもならず誠に相濟まぬことであると、父母を思ふ精神といふものは實に歴々として明かなことであります、思親閣などは有つても無くてもそんなことは構はない、日蓮が龍の口で斬られる時に刀が三本に折れた、所がその三本が今は足りない、三つに折れたと思つて信じ居つたのに一本足りないから日蓮聖人を捨てしませへといふやうな、そんな馬鹿なことはない、思親閣などは有つても無くつてもどうでも宜い、この眞個の精神をよく味はつたならば宜からうと思ふのである、日蓮聖人の親孝心のことは一片の疑の存する

所はない。(次續)

(左記は、去十月九日統一閣本部特別大講演會席上、四王天閣下の御講演なるが、時局益々多事の折柄閣下の極めて  
御繁劇、遂に御校期の時日なかりし事を陳述す)

## 自界叛逆難他國侵逼難

陸軍中將 四王天 延 孝

本夕は立正大師様の六百五十遠忌記念といふ由緒ある機會に於て一場の講演を申し上げますことは、私の頗る光榮とし且つ感激に堪へない次第であります。

「自界叛逆の難、他國侵逼の難」といふ演題を掲げましたが、これは私が既に二三年前より、「三大國難」或は「國難に直面して」と題して各地で講演をしたことでありますが、それがだん／＼と實際に進展をして参りました、今日のやうな時局になつた次

第であります。而して本夕は主として各國難の根源ともいふべき方面の事柄を申し上げたいと思ひます、即ち思想國難と申しても、たゞ現在の世情が悪いから斯かる思想が出来て來るといふやうに、簡単に片づけてしまふ譯には行かない、斯かる思想を拵へ、これを宣傳する事その事柄が、既に各種の極めて隠密なる、執拗なる計畫の下に、世界的に行はれて今日に至つて居るのであります、其の秘密の隠謀の根源といふべき事柄に就て申上げて皆様の御理解を願

ひ、殊に今日の時局に直面致しまして、吾々日本國民として一層の決心と覺悟を致したいと思ふのであります。

先般東京日々新聞、大阪毎日新聞が「米國秘密室」といふ表題の下に連日掲載致しました記事を御記憶のことであらうと思ふのであります、此處に持つて参りましたのが其の原本であります、American Black Chamber」といふ書物であります。是は米

國のハーバート・ヤードレーといふ男が苦心慘愴を致しまして各國の秘密外交の裏を發き、或は秘密インキで書かれた文書を化學的に解決したり、或は又暗號電報を読み解いたのであります、可なり悪辣な手段なども用ひたやうであります。それが爲には或は若き外交官達をダンス、或は其の他いろ／＼の仕掛で誘ひ込んで暗號の種本を盗み出したり、いろ／＼の事が書かれてあります、併し他の國の事柄はどうでも宜しいと致しまして、我國に關する限

りは痛恨に堪へない點があるのであります。それは彼の華盛頓會議の時に、我が出先官憲より本國政府に向つてする請訓、竝に之に對する政府の回訓といふものは、悉く我全權に先だつて彼等が讀みこなしまして、米國全權の机の上には會議に出る前にチャンと翻譯せられて立派にタイプライターに打たれたものが並べられてあるといふやうな有様であつた。我が全權は神ならぬ身の、暗號電報が讀まれてしまつたことは知りませぬから、會議の席上に於て、既に亡くなられた加藤全權にしろ、或は今の外務大臣の幣原全權にしろ、一生懸命で日本に成べく有利にと思つてやつたことでありませうけれども、向ふの全權から見たら嘸可笑しかつたらうと思ふ。もうチャンと暗號を讀んで居るのだから、「已むを得なければ六割に譲つても仕方がない」といふ本國の訓令を讀んで居る。さうして會議に出て居るのであるから、まあ正直に言へば「宜い加減にしろ、往生

際の悪い奴だ、四の五の言はずに早く屈服したらどうだ」と言ひたい所でありませう。眞逆に「お前の國の電報は一寸失敬して讀んでしまつたから……」とは言へませんから、何とか理窟は捏ねたてでありませうが、さういふ譯で亞米利加の思つたやうに引摺られてしまつた次第であります。嘗て海軍問題に於て我が主張が通らなかつたのみならず、彼の滿蒙特殊利権と稱して大正六年石井子爵と米國國務卿ランシングとの間に立派な成文となつてあつた所の協約も、是が爲に遂に土崩瓦解し、帝國の蒙つた損害は實に尋常一樣のことではありませぬ。又昨年の倫敦會議のことを考へて見ますと、此の亞米利加のハーバート・ヤードレーといふ男は、英吉利や佛蘭西の秘密室を研究して、其の眞似をして亞米利加にブラック・チエンバーを拵へたのでありますから、其の本家本元の英吉利の秘密室なるものが如何に完全であつたかといふことは察するに難くない。随つて

昨年(去年)に於ける倫敦會議などに於て、我國が失敗し失敗を重ねるやうになつてしまつたことも、吾々が今にして追憶致しますれば洵に痛恨に堪へない次第であります。併ながら過ぎたことは致し方がありません。來年の二月二日から更にゼネバに於て一般軍縮問題が議せられやうとありますから、斯かるへまは再び繰返さないやうに、其の時になつてはたゞ請訓回訓の往復などをしないで、最初からチヤンと腹を定めて行つて、いけないものならいけないとしてサツサと引上げて來るとか、案を幾つも練るなら練つて持つて行くといふ風にすべきであると思ひますし、又當局に於ても今や其の準備をされて居るやうに存じて居ります。

只今申上げましたのは唯ハーバート・ヤードレーといふ男が根氣の良い、天才的のスパイみたやうな男であつて、百四五十名の男女を使つてやつた一の秘密室であります。其の秘密室ですら斯の如く政治

外交の方面に多大の寄與をすることが出来るのでありますから、世界の中にある所のモット恐しい大きな秘密室といふものが如何なる働きをし得るかといふことは、想像に難くないことと思ひます。此處に掲げました表は、(表示)最近百五十年ばかり此の方の社會運動を一つの表に示したものであります。此の中で赤く書いたのは表面に現はれた社會運動であつて、黒く書いたのは秘密の運動であります。此の中には一度出來て滅びてしまつたものもありますが、中には二百年以上も續いて存在して居るものもあります。其の恐るべき秘密結社を稱してフリーメイソンリーといふのであつて、其の中に入つて居る會員をフリーメイソンと稱するのであります。どの位の會員があるかといふと、七八年前の發表に於ては二百三十五萬人と稱せられて居りましたが、今や四百四十萬人といふ聲を聞くやうになりました。

此のフリーメイソンが如何なるものであるかといふことを十分説明する爲には到底時間が足りませんから、極く簡単に申上げますと、其の目的は世界共和國の建設といふことを目的として居るのであります。而してフリーメイソンには二派ありまして、それは大陸フリーメイソンと英米フリーメイソンとであります。其の英米フリーメイソンの方が日本などには多く來て居りまして、日本の相當有力者の中で加入して居るのは此の英米フリーメイソンの方と思はれます。是は比較的穩健であつて、唯長い時間を費して、所謂エボリエーション的に時間を掛けて、回轉運動を以て世界の關係を覆へさうといふのであります。大陸フリーメイソンの方は全然革命的であつて、各種の機會に革命を起して其の國の國體を變革せしめ、さうして共和國の建設といふ目的を達しようといふので進んで來つゝあるのであります。然らば英米フリーメイソンの方は何等の危険がないかと言ひますと、日本のフリーメイソンの人、若

くは擁護者であると認むべきやうな人は「決して危険はない、正義人道を以つてやつて行くのである」などと申しますけれども、それは唯真正面から國體の變革などをしないといふだけで、實際やつて居ることは段々と國體を覆すやうな方法をやりつゝあるのであります。ポツリ／＼と天皇の大權に屬するものから、移せるものは下の方へ移してしまふ。英國の如くに「君臨すれども統治せず」といふ風な型にしてしまつて、寧ろ人民の方が權利を餘計有つやうに毎年々々各種の立法を以つて、或は輿論を作り上げてさういふ風に努めて居るのであります。皆さんは世の中にフリーメイソンの思想とか、フリーメイソンの學說などといふことを御聞になつた方は一人も無からうと思ひます。それは言はないのが本當であつて、彼等は所謂秘密結社である。秘密の信條を有ち、秘密の運動を行ふので、表面にフリーメイソンらしいことなどは一も言はない。さうして所謂デ

モクラチックに、即ち天皇は君臨すれども統治せずといふやうなことに段々持つて行かうとしつゝあることは、識者を俟たずして明かなことであります。序に申して置きますが、近く日本にフリーメイソンの有力な男が來ることになつて居ります。それは露西亞の文豪マキシム・ゴリキーといふ男であります。是はフリーメイソンの大立物であり、又共產黨員であります。果して日本の官憲が之を如何に取扱ふかは私の關する所ではありませんが、斯ういふ者を呼ぶ同志が日本の中に居る。フリーメイソンの者が居つて、日本に彼を呼んで來るやうな運動をして居るのであります。さうして彼が來朝するや、恐らく日本の大新聞の講堂、今夜は此方の會堂、明日は此方の講堂といふ風に、露西亞文學に關する講演をやるであります。青年學生は溢るゝ如くに其の會場へ詰め掛けるであります。さういふ風にして文學といふ看板を懸けて置いて、實は彼が其の中に色

々彼等の言はんと欲する所をジワリ／＼と言ふであらませう。又人の見て居らぬやうな所に於ては彼が日本に於ける同志を激勵し、又之に指令を與へ、各種のやらんと欲する所を遂行するであります。それは過去に既に例がないことはありません。先年日本に西班牙の大文豪と稱するフラスコ・イバニエスといふ男が参りまして、彼方此方の講堂に於て講演をして歩きました。焉ぞ知らん、是はマルクスなどと同じ猶太人であつて、革命家であります。先般の西班牙の革命を以つて、唯リヴェラ將軍の生半じやくの獨裁政治の結果であるといふ風に手輕に片付けてしまふ論者も居りますけれども、私の觀る所に依ると、決してリヴェラの失政等に依つて直ちにこんな事が起つて來るものでない。彼の日本に來たフラスコ・イバニエスあたりが所謂帝政破壊の爲にどれ程盡力致したか分らない。日本では帝政破壊の講演などは表向きは無論して居りませぬ。併ながら

彼が日本から歸つて直ちに書いた本は、即ち「假面を引剥いたアルフォンソ十三世」といふ書物であつて、佛蘭西の國から祖國西班牙に盛んに送り出して革命の準備を致したことは、私が現に彼の地に於て見た所であります。さういふ風な代物が日本に來ては、唯一個の文學者、世界の名士といふことで彼方此方に引張り廻されて行くのである。さういふ人は決して自分はフリーメイソンであるとも何も言ひはしませぬ。又如何に官憲が捕へて「お前はフリーメイソンに違ひない」、寫眞を示して「お前は斯ういふ服装をして、フリーメイソンの挨拶である自由平等の合圖をして居る寫眞であるではないか」と言つて示した所で、決して自分の口からはフリーメイソンと言はないのが彼等の間の固い約束でありまして、首を刎ねられなくても自分の口からはフリーメイソンといふことを決して言ひませぬ。是が日本に來て日本のフリーメイ

ソンの集會に出て、チャント儀式を備へて「お前はフラーメーションか」と親方から聴かれても、さうは言はないのが彼等の間の法であります。さういふ場合に何と答へるかといふと、「ハイ、左様でございます」とは言はない。「人は私を左様に呼びます」斯う言ふのである。是れ位固い約束のある結社である。決して自らフラーメーションといふことは申しません。

斯ういふ厄介な結社があつて、それが或は文學の方面に、或は政治學の方面に、或は經濟學の方面に、或は社會學の方面に、或は宗教の破壊といふやうな方面に、有ゆる方面に手を伸して、彼等が將來決行しようと思ふ所の革命の下拵へをして行くのであります。人は識らずにそれに引張られて行く。亞米利加のブラツク・チエンバーといふものに依つて暗號を讀まれたといふやうなことは、實に今日の日本人に對する一の警告であつて、私は斯る大規模な大秘

會とか、或は國際聯盟協會婦人部などいふものが一方に於て設けられ、我國の外務大臣まで出席して之を激勵して居る。其の婦人の平和運動といふものと第三インターナショナルといふものは、直接には關係はありません。恰も二本の指が其の先に於ては離れて居るやうなものでありますけれども、併し之を能く観るといふと決して離れたものではないのであります。一昨年あたり第三インターナショナルから指令が出て、反戰運動といふものは革命の一つの手段になるのであるから、第二インターナショナル時代には婦人の反戰運動が少くて物足りなかつたが、今回は盛んに婦人を平和運動に使へといふ指令が出て居る。さうすると忽ち國際聯盟協會の方に婦人部といふものが出来て来るのでありますから、是は其の分れた末に於ては違つて居るけれども、恰も二本の指のやうなもので、其の出て来る元は同じなのであります。(圖を示して)茲に掲げました妙な形を

密結社があつて、今日の思想の問題なども彼等が導いて居るものである、故に生やさしい努力を以つて之に對抗することは出来ないといふことを申上げて、皆様の御奮闘を煩しいと思ふのであります。

其の思想の個々の問題に關しましては到底申上げる時間がありません。今日は主として他國侵逼難、即ち、戰爭國難の方に力を入れて申上げたいと思ひますから、個々の問題を省略致しまして、唯世界には秘密結社としてさういふ様なものがある。さうして今インターナショナルといふものが活動して居りますが、第三インターナショナルも、其の前の第二インターナショナルも、又もう一つ前の第一インターナショナルも、悉く是はフラーメーションの秘密結社に依つて計畫せられ、導かれたものであるといふことを申上げて置くに止めます。

斯かる裏面の運動を能く觀まして、さうして表面に現はれる所を觀て居りますと實に面白い。平和協したものがフラーメーションの標章であつて、其の中心にあるのが猶太人の標章であります。點が三つありますが、是がフラーメーションの方で三點兄弟と申して居ります。三點打つて彼等は色々の記録に使つて居りますが、其の三點は何を表すかといふと、所謂正反合といふ辯証法を表はして居る。斯ういふ標章の下に彼等フラーメーションのやつて居ることは色々あるので、第三インターナショナルは唯其の中の最左翼の一機關に過ぎない。其の他の色々の運動でも皆フラーメーションが動かして居る。第二インターナショナルの所謂社會民主主義の方も矢張りフラーメーションから来て居る。モット右の方に行くといふ申した婦人の平和運動とか、國際聯盟までも動かして居るといふことになるのでありますから、それ等が根本に於て一つの大きな聯絡を有つて居るといふことは明瞭であります。一例を申しますと、第三インターナショナルの實際運動の一の機關に「支那より



手を引け會」といふのがあつて、片山潜といふ非國民を會長にして居る。日本、支那は勿論、英吉利、獨逸等にも支部があります。支那より手を引け會」といふ最左翼の機關が日本に存在して居つて、是が「吼えろ支那」といふやうな脚本を書いたりして、一生懸命で支那の革命を揮潰すなといふことをやつて居るかと思ふと、日本の政黨や或は平和運動者の中に、對支不干渉同盟といふ風なものがあつて、支那をのさばらせる機關になつて居る。是が源は同じものから兩方に出て居るのであります。社會主義の方にも出て來れば、平和運動の方にも出て來ますが、それは皆兄弟である。御互ひ其の末に動いて居る連中は、親が何であるか知らないでありません。顔を合せても兄弟であることは知らないかも知れませんが、實は本當の兄弟である。さういふ譯で實に巧妙な組織で、有ゆる方法を以て彼等の目的達成の爲に盡しつゝあるのであります。

思想國難の方面に付きましたは、唯斯様な第三インターナショナルの仕事も、或は第二インターナショナルの社會民主主義も同じ筋から出たものであるといふことを申し上げまして、それは一の手段に過ぎないのである、決して彼等の標榜して居ることが直ちに目的でも何でもないといふことをハッキリ御諒解を願ひたいと思ひます。之を詳細に秩序立つて御話し致しますと中々短時間では済みませぬから、本日は之に止めて置きます。

唯之に關聯して一つ説明を補足して置かねばならぬことは、世界共和国を作るといふ彼等の目的であります。所謂一國浮提に絶対の平和を齎すといふことは吾々も亦理想とする所であつて、其の實現に努めなければならぬ。強ち否定することは出来ないのではないかといふ風な疑が起るといけませんから、申上げて置きます。彼等の申す世界共和国を作るといふことは、決して本當の道に適つたものでないとい

ふことを私は斷言したのであります。それはどうしてであるかといふと、我が國民の理想とする世界の平和といふことと違つて、彼等が將來世界の共和国を作つた揚句には、それを統治するのはどういふ形式になるかといふと、軍備も何も皆な無くしてしまつて、恐しい物は世の中に一つも無くして、所謂ブルートクラシーといふ組織で治めようといふ金權萬能主義である。今はデモクラシーといふクラシーを盛んに唱導して居るけれども、是は途中の一つの方法に過ぎないので、下の方から火をかけて爆發させ、結局首なし國家といふものにしてしまつて、其の首なし國家を綜合して一つのインターナショナルツヴェイエツト共和國といふものを拵へる。それから更に其の國家をぶち壊して一大共和國を作らうといふコスモポリタン、即ち萬國主義のものにしたといふのであります。今は丁度其の首なし國家を作る爲に權力を段々下の方に持つて行かうといふの

が、デモクラシーを唱導する彼等の手段である。何でも多くの人が集つてやりさへすればそれで効を奏するといふ遺方であります。最近にも一つ橋の商科大學に騒動があつて、是が目的を達成して學生が凱歌を奏したといふやうな新聞の記事がありますが、是は果して善い現象であるか、悪い現象であるかといふと、私は決して善い現象とは思はないのであります。學生といふ多數の者を集めて學校に籠城し、怪我人まで拵へればそれで目的を貫徹する。それ以外に目的貫徹の途がないといふことは甚だ宜くないことである。私共から見ますと(事情を能く知りませんが當るか當らないかは分かりませんが)昔はこんな事はなかつたやうに思ふ。純真無垢なる青年をして斯る運動に携らしめないで、局に當る學校の校長なり教授なりが、斯る新制度を採られては困るといふならば、官職を抛つて、場合に依つては身を賭して政府當局と争ふべきである。學生の多數を藉りて大會とか何

とか言つて運動を起して、大勢でワイ／＼言つて何千といふ頭数を並べて、それに依つて勝を制するといふことは、是は全くボルシエビズムの卵でありま

す。甚だ私は不目出度い現象だと思ふ。  
三年程前に私が京都に居つた時に、閑院宮殿下が京都の中等學校、青年團、青年訓練所の御親閲を遊ばされました、其の時に實科が濟んで學科になりました。當時の京都府學務部長が試問官となつて質問を發した。廣く會議を起し萬機公論に決すべしといふ明治天皇様の御誓文の一箇條があるが、是は如何なることか、知つて居る者は手を挙げよ」と言ひますと、「ハイ、ハイ」と言つて大勢手を挙げました。一人指された者が最初に答へたのは「ハイ、是から先は世の中の事は何でも多數決で行けといふことではありません、斯う答へた。是はどんなでもない事を言ふもののだと思ひましたが、學務部長が温厚な人であり、又殿下の御前でもありましたから「それは違ふ」と

ハッキリ言はずに、首を捻つて「次ぎ」と言つて他の者を指して、最後に「段々後の方になると答が正しくなつた」と言つただけで、最初の答が間違つて居るぞといふことを言つて下さらなかつた。私は甚だ遺憾に思つて、さういふ論を放つて置いてはボルシエビズムの卵である、危いと思ひまして、京都府下を巡講の時には其の問題を提げて講演をして歩きました。「萬機公論に決すべし」といふことは多數決で行けといふことだといふのは、どういふ所からさういふ結論が得られるか。公論と多數決といふことは大變な違ひである。動もすると今のやうな間違ひが起るのでありますが、公論は輿論とも違ふ。輿論と多數決とも違ふ。政治形式の細かいことになれば、多數決もあれば過半数もある。色々やり方があるでせうが、ジョン・スチュワード・ミルといふ自由論者が「自由論」といふものを書いて居ります。其の中にも彼は數頁を費して、續々「少數意見とい

ふものを壓迫してはいかん、少數意見の中に實に立派な意見がある。良い意見が往々にして衆愚には分らず、人の随喜渴仰を得ないけれども、少數意見といふものゝ中に良い意見があるのだから、唯多數を以て之を壓倒し、多數横暴をやつてはいかん。自由主義といふものは其の點まで考へるのである」といふことを説いて居りますが、是は實に聽くべき議論だと思ひます。露西亞語の「ボルシエグアイキ」といふことは「ボルシエ」といふ言葉から出たのであつて、是は「多數」といふことである。「メニシエ」といふのが「少數」といふことで、メニシエウイキといふことは少數派のことです。唯頭数の多數を揃へて以つて行きさへすれば、理窟があらう

るのでありますから、多數の者を自分の方の味方にしようといふことを考へて、其の多數の者が追隨して来るやうな學説を——學説になるものもあり、ならぬものもありますが、色々の説を立て、彼等の陣營に引張り込みつゝある。是は洵に危険なことでありま

が無からうが、それで押通すといふことになるのは甚だ宜くないことでありまして、前から述べて居ります秘密結社が革命を遂行せんとするには、先づ民衆を手に入れて民衆の力に依つてやらうとしつゝあ

それでインターナショナルのソグイエット共和国といふものを作つてどうするか、今はデモクラシーを以て現在の國家組織を壊してしまつて、それから更に其の國家をぶち壊してブルートクラシーといふ金權萬能主義の世界にしたならば、どうなるでありませう。現に世界の中で其の富の三分の二まで握つてしまつたと稱せられて居る猶太民族が勝利を占めるやうになるのは寧ろ當然のことです。私は昨年の暮に東京在住の歐羅巴人であつて、極めて各種の消息に通じて居る男と一緒に意見の交換をしたことがありますが、其の男が私に向つて述べた

中に驚くべきことがあり、あなた方は英吉利の首相マクドナルドが「昨年華盛頓に行つたのを何と観るか」と言ふ、私は「別に何のことはない、唯倫敦會議の下打合に行つたのではないか」と申し、所が「そんな觀察をなさるからいけない。無論一國の總理大臣が自分の國をあげて行くのであるから、さういふ公然の職務を執行することも任務の中にあつたことは勿論であるけれども、實際のことを申すとマクドナルド氏は選舉の御禮に行つたのである。労働黨を勝たしたのは何人であるかといふと、亞米利加財閥、而も猶太財閥が大部分であるが、それが少からぬ金を出してやつて、親米主義を取つて居る労働黨を勝たしたのである。之に依つて彼等が倫敦條約を成立させようといふのでやつた仕事である。其の事を御承知ないか」と言はれて、私は「ハア、そこまで研究して居りませんでした」と告白せざるを得なかつたのでありますが、其の告白をすると共に

私は思はずヒヤツとしたことは、今は日本に於てはそんな怪しからの人間は一人もなからうが、將來デモクラシーを徹底し、選舉權を擴張し、婦人參政權などといふ餘計なことをやつて投票者の數を段々多くして行けば、金が掛ることは明瞭である。さうなつて來れば、二大政黨を對立させて色々やつて居るが、「もう少し金があれば此の選舉に勝てるがな……」といふことが必ず起つて來る。そこに彼等一派の金が注ぎ込まれて、「此の次の選舉には此方を勝たしてやらう、イヤ此方に絶對多數を取らしてやらう、さうして斯ういふ條約なり會議を成功させよう」といふやうなことが若しあつたとすれば、是は實にさんでもないことで、我が國家を誤ることになると思ひます。彼等は既にあれだけの金を集めて、其の秘密室の中には大分の金が出来て居る。百五十萬圓位の金は立ち所に彼等は集め得るといふことである。さういふことを以て彼等が他國の内政に干渉す

るやうになつたならば、實に恐るべきことであると云はなければなりません。世の中は、武士は喰はねど高揚子といふ信念で以て道義に依つて動く人間と、金の爲には節でも賣るといふ人間とどつちが餘計になつて來るかと言へば、日に月に金の爲に節義を賣る、金の爲には自分の主義に於ては反對して居る人にも投票するといふ者が段々多くなつて行きつゝある現状であります。此のブルートクラシーといふ彼等の最後の目的とする政治の組織は、決して人類の上に正義と幸福を齎すものでなくして、世の中を腐敗せしむるものであると私は考へて居るものであります。

唯そればかりではありませぬ。今から三十四年前に發表されたと稱する猶太人の秘密決議といふものがあります。プロトコールといふ名前で有名になつて居りますが、勿論猶太人は之を否定して居りますが、其の中に斯ういふことがあります。「我等が若し

天下を取るの曉に於ては、自由といふ文字を字引の中から消してしまふ」といふことが書いてあります。是は三十四年前に猶太人の決議として其の書類が世の中に發表されたのでありますが、是は何を語るかといふと、遺憾ながら事實に其のことが實現しつゝあるのであります。例へば大正六年に露西亞に革命が起つて、第一第二の革命を経て猶太人が確實に露西亞の政權を握つて、ボルシエグアイキの政治を樹立致しました其の曉に於ては、露西亞國民といふものは全然自由を失つたのであります。今日に至るまで露西亞人には自由がない。今日日本の最左翼の主義者共が口を開き筆を執れば、「吾々のソグイニエツト露西亞を守れ」などと言ふ、其の同じ口、同じ筆を以て「言論、集會、結社の自由を奪ひ取れ」などと言つて居りますけれども、彼等の守らんとする労働露西亞に於ては、決して言論の自由も集會の自由もないのであります。

先づ言論の自由といふ方面から検討して見るならば、彼の中央政府の機關新聞であるブラウダ、イズウエスチャ、クラシナズナビヤ、クラシナズオピサといふやうな大小の新聞が發行せられて、百數十種に及んで居りますけれども、悉く政府の機關新聞か、然らずんば政府の半官報であります。決して政府の施設を攻撃し、或は共產主義の批判をするといふやうなものは一つもないのであります。のみならず御互に政府の悪口をコソ／＼と個人の間で言ふことすら禁せられて居り、それを敢てする者は捕へられて處分されてしまふといふ風なことになつて居ります。日本の治安維持法の如きは、法廷に於て彼等共產主義者、勞農露西亞を守らんとする連中は、「此の悪法を撤廢しろ」と言つて騒いで居りますけれども、如何でありますか、自分の守らんとする祖國勞農露西亞の治安維持法は實に峻嚴を極めたものであります。日本の刑罰には天井が示してある。十年以下

下の懲役に處すとか、五年以下の禁錮に處すとか天井がきめてありますが、露西亞の刑罰は三箇月以上の禁錮に處すとか、三年以上の刑罰に處すといふ風に、下の床はきまつて居るけれども天井知らずである。それだけ彼等の刑罰は違つて居る。さうして國體の變革を謀つた者は死刑である、死刑と言つても絞死したりするのではない。銃殺であります。其の情狀軽い者にあつても全財産の沒收、國籍剝奪、國內の永久居住禁止といふ風な徹底したものであります。日本でもそれ位にやれば餘程靜かになるかも知れないのであります。が、どうも甘やかして居るので後から／＼出て来るやうにも思ひます。勞農露西亞ではそれだけ峻嚴な法を以つて自分の國體擁護をしようとしつゝあるのでありますから、決して人民の自由といふものはありませぬ。今年の二月の話であります。彼等が如何に自由を失つてしまつたかといふことを如實に物語る事實

があります。露西亞人は餘りに自由を奪はれて堪えられないので逃げ出さうとして居りますが、出國の自由もない。自分が勝手に自分の國を捨て、外の國へ移住したいと言つても其の自由もない。已むを得ずして身を賭して逃げ出すのであります。今御話しようとするのはブラゴニシチエンスクといふアムール州の御話であります。コルホーズといふ大農組織になつて居る農耕地があります。其の内に働いて居る人間五百名が陰かに計劃を立てまして、氷の解けない中に逃げ出さうとした。アムール河の氷が解けてしまふと中々逃げ出すことが出来ないから、又一年間苦しまなければならぬ。もう此の二月を外したら猶豫は出来んといふので、五百名が隊を組んで黒河に向つて逃げ出したことがある。勿論五百人逃げ出したら五百人が全部安全に逃げさせるには彼等も考へなかつた。足手纏ひの弱い者は先へ逃がして、屈強な者は殿りの役を勤めて、追手が来たなら

ばそれと對抗する。其の間にどん／＼弱い者を逃がして行かうといふ計畫をやつたのであります。五百名の中で三百名だけが逃げ了て、あとの二百名は或は殺され、或は捕へられて元の所へ戻されて、結局は懲罰を受けるといふことになつた。何が爲に彼等は斯の如く自分の祖國を棄て、逃げるのでありませうか、日本の共產主義者は日本人でありながら「勞農露西亞を守れなど」と申して居るのに、彼等露西亞人が祖國を捨て、何故に他國の土地に逃げなければならぬかといふと、それは實に自由を失つてしまつたからであります。衣食住共に不自由である。殊に今日に於ては食が非常に足りない。歐羅巴の中でも昔は露西亞といふ國は穀物の寶庫であつて、歐羅巴中の穀物を提供して居るとさへ言はれて居つた其の露西亞の國が、今では國民に何を喰はして居るかと言へば、黒パンを喰はして居ります。黒パンと言つても、精養軒とか中央亭で喰はせる黒バ

ンは白パン以上の實に贅澤なものでありますが、露西亞人の喰べて居る黒パンは、牛の喰ふ穀を入れ、馬の喰ふ藁を細かに刻み込んでパンに目方のかゝるやうにしただけのものでありますから、是は實に有難くない黒パンであります。今年の五月でありましたか、私の親戚が獨逸から莫斯科を経て日本に歸つて参りましたが、「莫斯科の目抜の街を散歩して見た所が既舎臭くて困つた、どういふ譯だ」と私に質問しますから、「どうも自分は最近の莫斯科を知らないけれども、自分の得て居る情報では、彼等が喰つて居るものが皆牛馬の喰ふやうな穀や藁で拵へたパンを喰つて居るから、人間が丁度牛馬のやうになつてしまつたから、到る處既舎臭くなるのは當然だらう」と言ひましたら、「成程さうかも知れない」と言つて笑つて居りましたが、實際そんな具合であります。

然るに露西亞は千九百二十八年から經濟五年計劃

奔西走、南船北馬致して各地を歩いて居りますが、何處の大きな停車場へ行つても、夏は固より、冬になるまで「アイスクリーム」と言つて賣つて居る。或はビール、正宗、サイダーから饅頭の井まで、有ゆる飲食物を賣つて呉れますが。露西亞に於ては停車場の呼賣を全部禁じてしまつた。其處を通る外國人は如何なる者と雖も、警察署の證明を以て其の驛所在地の住民であるといふことを明かにしなければ、一片の肉も半斤のパンも賣つて呉れないといふ有様であります。さうして外國人の如きは露西亞内地には二十四時間以上の滞在を許さない。そんな殺漬しが愚問々々されては困るから早く出て行つて呉れ、吾々の喰ふ物が減つてしまふといふ有様であります。

それでは實際食料品がそれだけ缺乏して居るのかといふと、今日に於ては強制労働でさういふ風に働かせるのであります。前に申したコルホーズといふ

といふものを立て、今は三年目になつて略々其の目的を達したとかいふ御託を並べて居りますが、それはどういふ譯であるか、「經濟上の五年計劃といふものが完成すれば實に恐しいことになるのだ」と言つて之を恐れて居る人もある。或は、「イヤそれは彼等一派の宣傳に過ぎない、何も恐れることはない」と言つて居る人もありますが、是は色々見方も違ひますけれども、彼等の五年計劃といふものを標榜して居るのは、「此の五箇年間お前達がしつかり働いて吾々の統制に服してやれば、工業の生産能率が二倍半うまく行けば三倍に擴張する。農業の生産能率は一倍半に増加する。随つて我國の富は非常なものになる。さうなればお前等に苦しい目はさせない。だから今五箇年計劃の成立するまでは戦時同様と心得ろ」といふので、彼等は極端なる緊縮節約を強ひられて居るのであります。日本の緊縮節約などは彼等から見ればおちやのこであります。私は文字通り東

大農組織の如きは、土地の所有權は全部國家が取上げてしまつたのであります。革命をやる爲には彼等は「みんな自作農にしてやる」と言つて農民を煽動したのでありますけれども、今日に於ては全部が小作人になつてしまつた。さうして僅かばかりの日傭勞銀をやつて極端に働かせる、皆日傭になつてしまつた譯であります。さういふ風にして強制的に働かせて得た穀物をどうするかといふと、それは外國に安賣をする、所謂ダンピングをやるのであります。さうして外國の市場を脅かして、それを以つて世界を不景氣にして、さうして彼等は目的を達しようとしつゝあるのであります。亞米利加のやうな彼の小麦の産地へ持つて行つて、露西亞から小麦をどん／＼賣り出す。併し是は實際亞米利加の市場に洪水のやうに小麦を賣込んだ譯ではなないけれども、私考へるのに、亞米利加の國內の商業會議所であるとかいふやうな所にチャンと猶太人の相棒が居る。さ

ういふ所に露西亞から百噸なり二百噸なりの小麦を送つて「値段は幾らでも宜い、品物はどん／＼送るぞ」といふやうなことを宣傳して、亞米利加の相場をドット崩してしまひさへすればそれで目的は達して居る。本當に小麦を亞米利加へ持つて行かなくても宜いのである。又石油にしても亞米利加の會社はチャンと資本を投じてやつて居る石油會社でありませんが、露西亞は全部政府の國有でありますから資本は要らない。皆徴發して沒收してしまつた物を安い勞働賃銀で働かして、只の物を送り出すのでありますから、安く行くのは當然のことである。恰も刑務所の製造品みたやうなものである。それを持つて行つてダンピングをやらうといふのでありますから、それは相當に他の國に響きを與へます。今の世界の經濟市場の混亂といふもの、原因の中には、確に此の露西亞のダンピングといふものが一つの大きな働きをなして居るのであります。

のである、大いに喜ぶべし」と言つて居るのであります。彼等はどうかして此の不景氣がモット長く續けば宜しい、此の不景氣がモット深刻になれば宜しいと考へて居るのであります。さうして失業者の簇出といふことも彼等は盛んに歡迎して居るのであります。先刻お目にかけて第三インターナショナルの隸屬機關として彼等が世界に發表して居るもの、中には、右の方から言ふと、プロフインターナル（労働赤色同盟）、クレスタンテルン（農民同盟）、キム（青年同盟）、モツブル（革命後援會）是は日本でも社會民衆黨の首領の安部磯雄といふ人が此の長に選ばれて居ります。それから國際労働者後援會、支那より手を引け會、スポーツインターナショナル、（是は此の頃では赤赤スボーションターナショナルと言つて居ります）そんなものが出來て居ります。此の七つの以外には彼等は隸屬機關を發表して居りませんけれども、隠し兒として彼等が有つて居るものに、萬國失業同盟

勞農政府の連中は此の世界の不景氣の襲來といふことに非常な望を囑して居るのであります。其の事は私が唯根據なしに手前勝手に申すのではありませぬ。第三インターナショナルの機關雜誌であります「コンミニュニスト、インタナショナル」といふものの中に、最初の社説の冒頭の所に於て、「不景氣は革命運動の誕生を助けるものである」と言つて居ります。さうして最後の結論に行つても矢張り同じことを繰返しまして、「吾々は成功しようと思つたならば、大不景氣の齎した此の現状を大いに積極的に利用することを忘れてはならぬ」と言つて居るのであります。昨年莫斯科に於て實行委員のモロトフといふ男が演説を致した中にもあります。彼は世界不景氣の現状を説きまして、「第二次の世界大戦が近く勃發する氣運に達して居る」といふことを説き、さうして最後の結論に於て、「諸君、現代的世界的大不景氣こそは吾々の仕事の前途に希望と光明を齎すも

といふものがありました、一方に於てはどん／＼失業者を拵へることに骨を折り、其の拵へた失業者を組織して、之を以つて革命をやらうといふ準備を彼等はして居るのであります。其の倫敦に於ける本部はハットガーデンといふ街の百五番地に在る。日本にも其の組織が渡つて居る筈であります。斯ういふ風な譯で、彼等は經濟五年計劃などと稱して居りますが、實は是は經濟國難を各國に醸成させ、其の結果世界各國が何とかしなければ生きて行けない、當に資本家が倒れ、資本主義が潰れるといふばかりでなしに、其の資本と相依存して生存して居る所の労働者、一般國民の生活が脅かされて、是では何とかしなければ生きる途はないぞといふ點までやつて行かうといふのであります。それから金の問題の如きもどうでありますか、世界の金の産額の大部分を有つて居ると稱せられる英吉利が、今や金が足りなくなつて金の輸出を禁止す

るといふやうなことになるのは一體どういふ譯でありませうか、世界の銀塊を掌握して相場の上げ下げを掌つて居るのは倫敦の猶太人でありませう。之と同時に又金を色々に左右して行くのも彼等猶太人でありませう。此の頃は猶太人がバレンスライン問題其他の問題からして英吉利に盾を突き始めたのであります。恐らく是等の點を見たのでありませう。蔣介石が今年の初めに「此の次に世界大戦が起ると、英吉利の帝政は破壊するぞ」といふことを述べて居ります。猶太人が英吉利を見放し、英吉利の金を段々亞米利加の方へ運んでしまはうといふやうに進んで来た結果であります。日本では昔から俗に言ふことであります、人間の家に鼠が澤山住んで居る間は其の家には何等の災厄がないが、鼠が色々な物を出してしまつて、鼠が居なくなるといふと何か災厄があるといふことを申しますが、英吉利にも猶太人がウンと構へ込んで金を澤山持つて居て、倫敦とい

ふものが世界の經濟市場の中心であつた間は宜しかつたが、經濟の中心が紐育の方へ今や移つて行きつゝある時代で、鼠がドン／＼運び居る譯でありませうが、鼠が段々運び切つて是が居なくなつてしまふと危いものであると思ひます。さういふ風なことも皆大仕掛の秘密室でやつて居る仕事でありますから、決して外から尻尾を捕へられるやうなことは致して居りませんが、現實にさういふことが著々と行はれつゝある事實は如何ともしようがないのであります。

斯様に露西亞は世界の市場を攪亂して、經濟五年計劃の終りは即ち世界大戦の蓬著といふ風に彼等は考へて、今や力を盡しつゝあるのであります、本當の經濟觀を以つて見ますと、勞農露西亞の經濟五年計劃などといふものは成立しないものと見るのが本當らしく考へますが、私共は經濟の専門家でありませぬから能く分りませぬが、其の襁褓を出す時期

は、即ち世界が大亂に陥る時期であるといふことを彼等はチャンと考へて居る。どうせ終ひの方は曝れてしまふが、其の曝れる時期には世界がひつくり返るやうになるのだから構はないといふので、今や大きな山を張つて居ると觀るのが本當だらうと思ひます。

而も其の經濟五年計劃の骨子といふものは重工業に重きを置きまして、紡績業であるとか其の他の所謂輕工業といふものは棄て、顧みない。彼等は農具を作るとか、大きな鐵工場を作るとかいふ風な仕事を重きを置いて居ります。是は一面に於て言譯は立ちますけれども、専門家が露西亞を調べて来た所に依ると、是等の重工業といふものは悉く戦時に兵器製造業に變改し得るものでありまして、彼等は取りも直さず戦争のことを考へて居る。經濟五年計劃が立てられて今や三年でありませうが、其の三年の間に露西亞の軍備がどれだけ殖えたかといふと、歩兵

師團が二つ、騎兵師團が一つ殖えて居る。さうして各部隊に配給してある機關銃とか其の他の新兵器は非常に増加し、其の他に機械化旅團といふものが四つ出来ました。即ち彼等は經濟五年計劃の中に軍備の充實、竝に擴張といふことを含ませて居るのであります。

恐らく我國の人々で浦達斯徳の北の方、朝鮮の國境と幾らも離れて居ないニコリスクスリースキーといふ所に一箇師團が何時の間にか殖えたといふことを承知して居る人があります、私は先般陸軍の當局者を責めたのであります。「何故さういふことを國民に知らせないのか、露西亞は軍備絶對反對だの、反戰運動などをやつて我國の主義者あたりを陵かして、日本の軍備を實質的にも縮小させるやうにし、又政治上に於ても我國の國防を薄らげるやうなことをして居るけれども、其の實彼等は全く逆を言つて居るのであるといふことを、何故國民にハ

ツキリと知らせないのか、さういふ事實があることを何故隠して居るのか」と申しました所が、「いや隠す譯ではないけれども、吾々が斯ういふ情報を目本の新聞記者に與へても新聞が書きませんよ」と言つて居りました。是は實に困つたことであります。民衆に迎合し、負擔の軽減といふ風なことに理窟をもつて行ける方の記事ならば喜んで出すが、それに逆行するやうな記事であると、斯ういふものを出すのは得策でないと言つて抑へてしまふのか、何か知りませんが、兎に角さういふ事實は必ず新聞社に知らして居るのであるけれども新聞が書かない。吾々當局の努力も足りないと言へば足りないけれども、知らせないのではないといふことを辯解して居りました。

さういふ譯で露西亞の經濟五年計劃といふものは、決して單純なる經濟政策ではない。其の間には色々な經緯が含まれて居るものであるといふことを

申上げて置きます。

さうして勞働者や農民は實に喰ふや喰はずの状態に置かれて居る。勞働者の如きは鉋付鐵砲を持つた兵士が各工場に番をして居つて、勞働規律を犯し、怠ける者があつたならば直ちに打叩かれる。それに抵抗すれば銃劍の鎗となる。逃げ出す者があつたら背後から、鉋付鐵砲には五發の實彈が入つて居るか、忽ち撃殺されてしまふといふ状態であつて、己むを得ず働かざるを得ないといふやうな強制勞働を課せられて居る譯であります。即ち前に申した通り、我等が天下を取るの日は自由といふ文字を字書の中から消してしまふことを決議して居るのであります。現在世界の國民の中で最も憐むべき者は露西亞人であると思ひます。

私が斯う申しますと論者の中には、今露西亞の幹部の中には猶太人は居らぬぞ、寧ろ猶太人壓迫が行はれて居るぞと言ふ人がありますけれども、そ

れが又彼等の手でありまして、非常に目立つたトロツキーだの、第三インターナショナルの首領のジノヴィエフなどを退けて、スターリンといふ男を引張つて來たりして居りますけれども、彼等は皆やはり第三インターナショナルの連中でありますから、猶太人でなくても同じことである。餘り猶太人を目立つた所に置くと、却つてそれが爲に露西亞人の反感を買つて、數年前から、中世紀に行はれましたプロンといふ猶太人を大虐殺しようといふ風な氣勢も揚つたのでありますから、さういふことを避ける爲に目立つた位置から下げたのであります。先般まで陸軍次官をして居つた猶太人が、今は經濟部長を勤めて居る。又各省次官、局長、課長あたりの腕きんの所に猶太人を置いて、花より團子で實權を握つて居るといふ事實を見逃してはならないのであります。

さういふ有様でありますから、世界共和國といふ

ものが茲に出來れば、吾々の一闕浮提を絶對平和にして行くといふ理想と同じではないか。神武天皇様の仰せられた「六合を兼ねて都を開き八紘を掩ふて宇と爲す亦可ならずや」と仰せられた、之と同じやうになるではないかと言ふ人があつたら、それは非常な間違ひであります。彼等のは公明正大なる道に依つてやつて行くのでなくして、實に偏狹なる他民族壓迫の考から出て居るのであります。其の事に付て一言を費しますれば、彼等の經典の中に「タルムード」といふのがありますが、其の「ババメチャ」といふ部門の百十四章の第六節に何と書いてあるか、「此の世の中で人間と稱し得べきものは單り猶太民族だけである。其の他の民族は人間に非ずして獸類なり」と言つて居ります。猶太人以外の人間は、人間の皮を被つた畜生であるといふ、實に酷いことを言つて居るのであります。是が彼等猶太人の根本的に披くべからざる思想となつて居るのであります。



す。此の經典は既に千五百年も前に彼等が書いたものでありますから、今日に於ては必ずや是が書き變へられて、斯る不埒なことは言うて居るまいと思ひまして、私は最近の『タルムード』を手に入れたと思つて、大正十四年の春猶太人の書店を漁つて歩きました。倫敦で國際聯盟の會議があつた時に、餘暇を以つて歩きました、漸く手に入れましたのは最も新しい、今出来たばかりといふ千九百二十五年に出版された『タルムード』を手に入れることが出来ました。之を見ますと成程今申すやうな露骨な惡文句はありませんでしたが、其の代りに斯ういふとがあります。

「世界は單に猶太民族の爲にのみ造られたるものなり」神様が此の世界をお造りになつたのは、猶太民族の爲にお造りになつたのであつて、大和民族だの、英吉利人だの佛蘭西人だの、露西亞人だの亞米利加人だの、そんな民族はどうでも宜い。唯猶太人

大戦が起つて來なければならぬ。嘗に國と國とが攻め合ふばかりではない。一國の中に於ても同胞お互ひに相互扶助でやるのでなくして、同胞の間に流血の惨を見るといふやうな、所謂階級戦争なるものを起して血を流すといふやうなことが是からどの位行はれるか、自分は想像も出来ない程のことである。何故猶太人の諸君は、折角ベルサイユ會議の時に、我が日本の全權が人種差別撤廢といふことを提唱した時に賛成して呉れなかつたか、今日千九百二十五年になつてから斯る書物を書いて、世界は單に猶太民族の爲にのみ出来たといふやうなことを言ふならば、是は態々民族の差別を付けるものである。自己民族の優越を誇らんが爲にしたことであつて、甚だ不都合である」といふことを私は大いに論難したことがあります。國際聯盟が猶太人に依つて支配されて居るといふことは、十分御記憶を願ひたいのであります。是から後に起つて來る我國の對外交渉問題

を榮えしめんが爲であるといふ意味が、六年前に最も新しく拵へて、是から青年に讀ませようといふ『タルムード』の經典の中に書いてあつたのであります。私は實にそれを見て落膽致しました。さうして其の年の國際聯盟總會に出席した時に、今は事務總長をして居ります人と非公公式の會合に於て話を致しました。「今や猶太人は國際聯盟を牛耳つて、事務總長から事務次長二名、軍縮部長、宣傳部長、經濟部長、政治部長といふやうな各種の重要な椅子を占めて居つて、平和の爲に、軍縮事業の爲に墓地に働いて下さることは、一方から申せば實に感謝に堪へない次第であるけれども、併し其の思想の根本に於て、斯の如く偏見排他なる思想に基いて仕事を居るならば、斯くて世界に平和の來る氣遣ひはない。聯盟の諸君は、先般の世界大戦を以つて世界最終の戦争なりと宣傳をして下さるやうだけれども、自分の觀る所を以つてすれば、世界には第二第三の

の時に必要な問題でありますから、お忘れのないやうに願ひます。

又基督教の聖書を御研究になりましたも、到る處に「神は諸民族の中より汝等(猶太人)を選んで彼等の上に置き給ふ」といふことが書かれて居ります。是は所謂選民思想と言つて、猶太人といふものは神様から選ばれた優秀民族であるといふことを彼等は今尚ほ信じ、之を實現しようとしつゝあるものであります。斯る民族が若し誤つて世界共和國といふものを造り、それを牛耳るといふことになりましたならば、世界中の人類は將に現在の露西亞のやうな不幸な状態に置かれて、一生涯税の上らぬことになるといふことを覺悟しなければなりません。世界は單に猶太民族の爲に造られたといふやうな考を有つた人間に此の世界を任せて置けますか。吾々大和民族の大使命といふものは、斯る偏見排他の思想を有つて居る者を矯正し、其の百鬼夜行の状態を打破して、

本當の正義を以つて、恰も日輪が諸々の闇を照すやうに、正義の光りを輝かして行かなければならぬのであります。今彼等が跋扈して居るのは、日輪の昇る前に月や星の光りが幅を利かして居るだけのものであつて、吾々大和民族が是から本當に世界に進出すべき秋であるといふことを、此の機會に於て申上げて置かうと思ひます。

思想國難と經濟國難のことに付きましたは申上げれば際限がありませんから其の邊に止めまして、是から戰爭國難といふものに説き及ばさうと思ひます。戰爭國難といふのはどういふことになるかと申せば、第二の世界大戰が起つて來るのであります。西洋方面に於てはベルサイユ條約の破棄といふことを以つて是が起つて參ります。ベルサイユ條約の破棄といふことは、即ち國際聯盟の破産といふことになるのであります。是は何處の國が一番それに盡力するだらうかと言へば、獨逸が必ず之に力を入れま

に背負はせてしまつた。其の爲に獨逸國民は、今年生れた赤ん坊が還暦の祝ひをする頃まで、毎年十數億の金を獨逸は只持つて行かれてまだ拂ひ切れぬといふ風な賠償の責任を負はされる状態に今日置かれて居るのでありますから、獨逸人としては實に心外千萬に堪へないと思ふのであります。又軍備の方面を考へて見れば、彼の獨逸といふ大國が持ち得る軍備は僅に常備兵十萬人、之に警察兵が十五萬人、加へて二十五萬人が最大限度といふことになつて居るのであります。飛行機は民間飛行機は宜しいが軍用飛行機は一臺たりとも持つことはならぬといふ條件を課せられて居る。斯様な極端な條件を受諾することは随分獨逸としては苦しかつたのであります。何しろ其の當時聯合國はライン河を越えて獨逸の中樞部に近く軍を進めて、保障占領をして其の儘談判をしたのでありますから、獨逸が承知しないならばもう一戰繼續するぞといふ勢を示されまして、已む

す。現に最近出來ました國粹社會黨のヒットラーといふ人は、眞向から國際聯盟を嫌つて居ります。ベルサイユ條約を破棄しなければならぬといふ考を有つて居ります。昨年の秋の總選舉の際に、當時まで僅かに議會に十二名しか議員を有つて居なかつた彼が、一躍して百七名の多數を占めるやうになつたのは何の爲であるかと言へば、彼が總選舉に當つて掲げたスローガンのお蔭でありまして、其の一つは「不正義なるベルサイユ條約を破棄しろ」といふことを申しました。成程勝てば官軍、負ければ是れ賊といふことは、古今東西を通じて變らない所ではありますけれども、世界大戰の責任は決して獨逸一國が負ふべきものではない。英吉利、佛蘭西などは十分の責任があるのであります。それを獨逸一國に背負はせて、非併合、非賠償主義を以て平和談判を始めたにも拘らず、最後に於ては獨逸に、列國の使つた賠償の殆ど半分以上の千五十億といふ大金を獨逸

を得ず獨逸は之を受諾したのであります。併ながら之を受諾する際には條件を付けました。獨逸が此の苛酷なる軍備制限を受諾することは、今日以後引續いて聯盟加入國が其の軍備を獨逸と同様の程度に縮小するといふことを容易ならしめんが爲に、先づ模範を示す意味に於て獨逸は此の少數なる軍備を受諾するのであるといふことが書いてあるのであります。然るに今日十年以上も経つけれども、他所の國が一向に軍備の縮小をやらぬといふので、獨逸は業を煮して居ります。私は大正十五年の軍縮準備委員會といふ、明年行はれる軍縮會議の下準備のお手傳ひを少しくしたことがありますが、其の頃から獨逸は此の不正義な問題を屢々唱へて居りますから、來年の二月の軍縮會議に於て眞面目な議論が始つて來たならば、列國も随分むづかしい問題に逢着するだらうと考へます。

いに獨逸人の共鳴を得たことは「世界の財界を攪亂しつゝある所の猶太民族の勢力を獨逸國內より一掃しろ」といふことであります。是が非常な影響を與へました。日本であつたならばそんな事を言つても誰も知りませんから、一體猶太人にそんな勢力が何處にあるのか、猶太人といふものが日本の中に居るのか居らんのかといふやうな話でありませう。是は私共の努力が足りないのか、私はもう十年程前から熱心に此の事を申して居りますけれども、樞兵衛が種蒔きや烏がほじくるといふやうな具合に私共の折角國民に想へつゝある此の問題を、片端から打壞しつゝある輩も居ります。それは京都帝國大學の厨川白村とか、東京帝大に居つた吉野作造とか、あゝいふ風な新人會とか、軟文學をやる人とか、社會主義の輩が片端から壞して行くやうに努めて居る爲に、今日でも國民に十分徹底して居りませぬけれど、併ながら實際は日本に於ける猶太人の秘密の活

躍といふことに付ては、外國人まで心ある人は見てハラ／＼して居るのであります。昭和二年の經濟恐慌に於きまして、臺灣銀行から十五銀行まで取付騒ぎや何かで大混雜がありました。あの時に帝國ホテルに猶太人の男女可なり多數の者が長い間陣を取つて劃策をして、所謂色々の秘密室の活動をやつたのだが、其の事を日本人が一人も御承知がないのは何たるお人好であるかと言つて、歐羅巴の或る婦人が此の間も人に漏して居りました。是は何かの雜誌にも出て居りました。また今年の五月一日のメーデーの時に、私はメーデーの視察を致しまして、上野の山で解散するまで見て居りましたが、最後に解散をしてしまつたらば、勞働服を着た猶太人が一名、技師のやうな服装をしたのが一名、二人連れの猶太人が出て來ました。さうしてまだ是から何か劃策しようと思つたのか、十錢に三つのゆで卵を買つてポケットへ捻込んで走り廻つて居るのを見ました。さう

いふ風に日本の中で猶太人は現にやつて居るのでありますけれども、日本人は猶太人問題といふものを知らないものでありますから馬耳東風で視て居りますが、獨逸人あたりは之を皆知つて居る。彼處の銀行の頭取をして居る猶太人は、此の前詐欺破産で酷いことをした奴だといふやうな苦い經驗を嘗めて居りますから、それでヒットラーの叫んだ所の「世界の財界を攪亂しつゝある猶太民族の勢力を獨逸國內より一掃しろ」といふ叫びに大いに共鳴致しまして、ヒットラーの一派に投票を與へたといふことになつて居るのであります。

是は單りヒットラーばかりではありません。獨逸の今日日本に居ります大使が、此の前飛行俱樂部に参りまして、彼處にヒューネフェルトといふ獨逸の男爵で飛行家の胸像が立つて居ります。あの胸像の除幕式を行ひました時に大使が來て演説をされました。一私は今日此のヒューネフェルト男爵の胸像除幕式

に自ら臨んで式を行つたといふことは、實に光榮に存する次第であります。生涯忘るべからざることでありますが、併し若しもヒューネフェルト男爵が唯一個の飛行家であるといふのみであるならば、私の今日感じた感激といふものは餘り大なるものではないのです。何となればヒューネフェルト男爵の後に幾多の優秀なる技術を有した飛行家は現れるであらう。さうしてレコードを作るであらう。さうなつて來ればヒューネフェルト男爵は唯現在に於ける一名飛行家といふだけに止つてしまふのであるが、併ながら私が今日の此の儀式に臨んだことを光榮とし、一生忘るべからざるものであるといふのは、彼ヒューネフェルト男爵が實に祖國愛に燃えた立派な獨逸國民である。即ち不正義なベルサイユ條約を破棄しようといふことを考へ、獨逸が戰敗の結果衰へた國運をどうかして回復しようといふ熱烈なる祖國愛に燃えた人間で、其の結果飛行界に身を投じて國家の

爲に盡した人間であります。今や不歸の客となりま  
 したが、此の祖國愛の精神、是れこそは永久不變な  
 るもので、私が生涯忘るべからざるものであるとい  
 ふのは此の點であります」といふことを獨逸の大使  
 は演説致しました。私共は實に此の演説には感心致  
 しました。日本の外交官あたりでも是れ位腹のあ  
 る、さうして外交技術としても實に巧みではありま  
 せぬか、死んだヒューネフェルトをして自分の言は  
 んど欲する「不正義なるベルサイユ條約を破棄せよ」  
 といふことを、死んだ人に巧みに言はしめて居る。  
 實に私は獨逸國民が將來大いに爲すべき國民である  
 といふことを考へると同時に、どうも日本人は意氣  
 地がないといふことを考へざるを得なかつたのであ  
 ります。(次續)

### 謹告

小生儀恩師本多日生上人ノ委囑ニ依リ統一團協賛會  
 理事長在任中ノ處本年八月九日洗足池畔清明文庫ニ  
 於テ開催セラレタル統一團協賛會ノ發起人會ニ出席  
 シ議事ヲ主宰セルモ其終了後即時腦出血ヲ起シ同會  
 議場タル清明文庫ヲ療養ノ場所ニ充テ昭和醫學專門  
 學校中川醫學博士北原醫學士ニ就キ治療ヲ受ケ大ニ  
 輕快ニ向ヒタリシモ拾月九日血壓二百五拾ニ亢進セ  
 ルヲ以テ同日直ニ昭和醫學專門學校附屬病院ニ入院  
 加療同月二十五日退院左記肩書ノ地ニ轉シ同地櫻本  
 醫學士ニ就キ療養中ニ候間此段道友諸君ニ謹告仕候  
 追テ

一、統一團協賛會理事長ハ九月拾三日退任届出事  
 務引繼ハ十一月二十七日完了ノ豫定ニ候  
 二、小林一郎氏ヲ講師トスル清明講座ノ法華經講  
 義ハ方便品迄講了シ清水龍山師ヲ講師トスル  
 立正講座ノ立正安國論講義ハ全部講了致候

右併テ報告仕候

相州藤澤町鶴沼海岸(六六二八番地)  
 昭和六年拾一月拾六日 宮原六郎

## 記事

### 統一團協賛會會報

#### 理事長更迭

宮原六郎氏今夏本會發起人會に於て事業經過報告をなし、續  
 いて第一期事業計畫及び事業費豫算、寄附金騰出金募集規定  
 並に財團法人統一團寄附行爲案等を協定せしが、酷暑の折柄  
 長時間の討議と且つ前日來の血壓亢進の爲めか遂に議事終了  
 後、腦出血を誘發せるを以て靜養中、當分は安靜休養の必要  
 上義に理事長辭任の申出ありしも、從來の關係上本會として  
 は其他加養し徐ろに病況に依りて進退を決せられん事を勸告  
 せしが、去九月十三日醫師の診斷書を添へ、從來自己關係の  
 一切要務を放擲し専心療養に盡し度く、従つて本會理事長辭  
 任の旨再度陳述ありしかば遂に本會は之を受任するに決せし  
 も、事務の引繼に於て同氏の都合十一月二十七日に到り、  
 一切の手續完了せるを以て、本會は曾て日蓮主義青年團を組  
 織せられたる護法篤信の士、上田辰卯氏を新任理事長に理事  
 會全員一致推選したるに同氏は快く承諾を與へられしかば、  
 本會は茲に此の熱誠新進の理事長に據り益々恩師の遺業顯揚

に努め萬全を期すべく、翻て宮原舊理事長の勞を多とし一日  
 も速かに其全快を祈ると俱に、此際各位の一層此淨業に御援  
 助あらんことを切望する次第なり

### 統一團本部團旗奉戴式

日蓮聖人第六百五十遠忌に際して各方面には幾多の記念すべ  
 き事業が計畫され實現されて居る、夫等には各種の意義を有  
 せること論ずる迄もないが、布教中心の我統一團本部に於て  
 は最も深い意味から「團旗」の創定を必要とされた。  
 仰も統一團は、かの有名なる格言問題に直接の起因を存して  
 爾來三十有餘年、内外多事の間に善處せる法勳の耀々たるこ  
 と肯て吾人の贅言を俟たずして世間出世間俱に周知の事實で  
 ある。この統一團の本領とする所は途中の者が兎角の論議を  
 交ゆることはない創設者 聖應院日生上人に聞くことが最も  
 正しいであらう。

統一團の本領は日蓮聖人の主張せられたる教義を最も嚴肅  
 なる意味に於て受け繼ぐ之を擁護し發揮して行く爲めに組  
 織せられたる團結である、夫れ故に一面には日蓮聖人の主  
 義主張を研究して全く其處に聖人の道統を傳承して行くこ  
 とが統一團の根本本領である。

右の通り 日生上人は開明されて居る。然るに世上を見れば  
 日蓮聖人程誤解されて居る偉人は渺ない、定に遺憾此上もな

い、そこに統一團の根本本領なるものゝ意義は飽迄も尊重せられて行かねばなるまい。

最近ある者は統一團は無論顯本法華宗のものであると謂ひ、或る者は我顯本法華の宗門に隸屬するは當然のことであると我もの顔をして居るが、是等は從來日生上人に近づかざる者の獨斷臆測であつて笑止の沙汰である、日生上人の御講演の庭に座しても心なき者の耳には聴かないであらうか。

此の統一團は顯本法華宗に屬する譯でもなければ、又日蓮宗各派の他に一つの派を立てたといふ譯でもない、吾々は現に顯本法華宗に僧籍を置くが併し因はれざる所の正々堂々たる日蓮聖人の主義主張を擁護して之を發揮せんと努力しつゝある者である、夫れが爲めに若し顯本法華宗に於て壓迫する者出づれば或は獨立するかも計り難い、

と 日生上人は明瞭に仰せになつた、これは敢て日生上人の本團創設當初のお言葉でも又晩年管長を辭任遊ばしてからの所謂反動的のお言葉でもない、最もお元氣の發れたる統一團増築落慶式に際しての御所信であつた、即ち終始一貫のお心持ちであつたのである。それのみならずよく時勢を徹見されて後來統一團が宗門から壓迫され窮地に陥り團員は去就に迷ふであらうとの思召もあつた、壓迫を防ぐべき權能を自分が管長として二十餘年間握つて居るから、この統一團なるものは壓迫を受けないのであるが、他の管長が權限を持つ時には

壓迫される、壓迫さるべき事は無いのであるけれども、正しい事を正しいとして主張をすれば壓迫をされるのである……嗚呼何と十年前に今日を洞見されて居た悲痛のお言葉ではないか！

正法は邪魔はつきもので「魔鏡はすば正法と知る可らず」である、其間に敢然として正義の爲めに奮闘力戦して行くこそ本化の榮譽ではないか「臆病にては叶ふべからず」との嚴誡が身に沁みる、覺徳比丘や貧女渡河の教に勵まざるであらう。

法華の信者だとか、日蓮主義者でござるとか申しても、事實上の日常行動の上に現はるゝ一舉一動が大切なのである、信仰は理窟ではない實際問題として吾人の生活に體驗し織込まれなくては繪の小判である、吾人は知行一致を呼ぶ、それには正信に安住することであらう「末代のありさまを佛の説かせ給て候には、濁世には聖人も居しがたし、大火の中の石の如し、且らくはこらふるやうなれども終には焼くだけて灰となる、賢人も五常は口に説きて身には振舞ひがたしと見へて候ぞ」そこに力の弱き者はうしろに強き柱を要する、團員の柱こそ吾人の弱き心に倒れざる強味を與ふるものである。團族こそ團員の一結された生命である。吾國族こそ日生上人そのものである。而かもこの團章は 日生上人の義に御協定遊ばされて居たものであり、其族布は 日生上人の最も記念す

べき由緒深い御法衣で、先頃大阪立正青年團が其の片袖を載いて同團旗としたものである。

菊花の薫る明治節に際し 日生上人に最も縁故の厚い三十餘年の御住寺であつた妙國寺に於て午後三時より 日生上人の御信頼深き同師會中の一員小西日喜師大導師として莊嚴なる奉戴の式典が舉行された。會する者約百名皆熱熱なる讀誦唱題の音は滿山に響いた、小西師の宣誓文言上に續いて磯部氏の左記の奉讀之辭及び祝電の朗讀等あつて最後に小西師の一擧の挨拶に芽出度く終了した。因に本團旗は會計理事柴田武治氏の寄進に係ることを厚く感謝する。

奉 讀 之 辭

青空碧々トシテ香々涯ヲ知ラズ 菊華霞々トシテ津々四境ニ溢ル 外ニハ錦楓の麗 内ニハ靈氣ノ香又爽復快ナリ 時ナル哉明治の佳節 機ナル哉淨信の一結 今日 恩師ノ淨舍ニ會シテ統一團團旗奉戴の盛典ニ與カル悦シイ哉 夫レ按ズルニ人 正信ナカル可ラズ信仰ハ形而上ニ位スト 雖モ而モ形而下ヲ離レズ 見ヨ世出ノ寺院教會ニ於ケル御本尊ノ奉安ハ言ハズモガナ世間邦國軍隊ニ在テハ團旗軍旗ヲ奉ズ是レ何等ノ謂ゾ矣 ア、無カル可カラズシテ無カリシハ實ニ本團團旗ナリシナリ 團旗ハ即是レ本團ノ魂魄本領ヲ圖顯セルモノナリトセズヤ 遂ニ團旗制定ナカル可ラズ

幸ナル哉 往年本國總裁 日生上人本團ノ徽章ヲ協定シ給ヒシナリ 即チ我國三種ノ神器ヲ中樞トシ 其外圍ニ旭光ヲ配スルモノ是也 人曰ク「神器ハ又智仁勇ノ三德標章ナリト 宜哉 此團章！ 神器ノ皇德 普ク日天ノ深山幽谷ト雖モ照サマルナク 貴賤怨親ト雖モ浴セザルナキガ如ク 日出大八洲ノ威耀萬邦ノ聯盟光被音キノ瑞彰ナルカ 然リ而シテ徽章ノ最要核ニ橘紋ヲ置クハ之レ 立正大師ノ聖體ナラズヤ 大師云ク「日蓮ニヨリテ日本國ノ有無ハアルベシ」

「日蓮ハ日本國ノ諸人ニ親シキ父母ナリ」又云ク「日蓮ハ日本國ノ人々ノ魂ナリ」等ト 情慮ルニ智仁勇三德ハ人格屬性ニシテ基本人格ハ誠心ニアリ 基本屬性ノ相全キハ所謂超人格ナリトセズヤ 熟視セヨ 本團章ヲ！ 法國冥合ヲ光顯シ得テ眞ニ妙妙ナリ 其靈光周遍セザルナク其慈教不滅ナリ 是レ天壤無窮皆歸妙法ノ圖示ナル歟 更ニ其族帛タルヤ實ニ 恩師 日生上人過去數十年常用シ玉ヒシノ法衣ナリ 始メ恩師年齒漸ク十八歳 泉州妙滿寺晋山ニ當リ 上人ノ悲母心盡シノ法衣ヲ供養シ給フモノ即チ是ナリ 爾來 恩師ノ出入共ニ其法衣ヲ離レズ 此法衣ヲ着シテ讀經スレバ其善根悲母ニ聚ル 此法衣ヲ纏テ講演スレバ其果德悲母ニ歸ストノ上人太孝至情ヲ拜セン 嗚呼

統一團法人組織

寄附者芳名 (自十月十七日 至十一月十六日)

皆構の護法淨財は拜受する毎に感涙に咽びます、法悦に安住すればこそ身命財を惜しむ事といふことでは、不況苦難に直面しては彌々教恩の難有さに勇躍致します。今度殊に英氣潑刺たる新理事長の人格を御信頼下さいます、本月は一時金半額、第一年分御醸出の期日でありますから申上ぐる迄もなき事でありますが、速かに御拂込み下さる様重ねてお願申上ります。

- 一金參拾圓也 名古屋 彌重 庸哉殿(即納)
- 一金六拾圓也 東京 中村のぶ子殿(四分)
- 一金參拾圓也 足利 和泉源三郎殿(即納)
- 一金貳拾五圓也 名古屋 大八木 義雄殿(即納)
- 一金參拾圓也 横濱 石毛 はる殿(即納)
- 一金拾圓也 札幌 永峰 治儀殿(即納)
- 一金壹百圓也 名古屋 妙教婦人會有志殿(即納)

維時昭和六年十一月三日

統一團協賛會 常任理事 儀部 滿事 合掌

貴哉 恩師數十年ノ法勳ハ獨リ此法衣ニ蘊在セルヲヤ 眼 前之ヲ拜シ 是ニ接スル者誰レカ能ク感憤興起セザラン哉 カノ宗門廓清 格言問題等々 血肉勇躍セン 此法衣 囊ニハ 恩師ノ法鉢ヲ被護シ 今ハ本團章ヲ顯揚ス 夫レ 偉ナル哉法衣 夫レ聖ナル哉徽章 願ミテ斯ノ榮譽燦タル團旗ヲ奉戴セル吾人ノ責務ハ極メテ 重且ツ大ナリ 淳善ノ佛子異舛同心 不惜身命以テ統一團 ノ本領タル 立正大師ノ道統ヲ承繼シ 恩師 日生上人ノ 學風ヲ守持シ 以テ能ク四恩報答ノ實ヲ期セザル可ラズ 恩師曰ク「教旨ノ正明 研學ノ淵達 活動ノ旺盛此等ハ統一團ノ標語ナリ」ト噫 深思々々 三省々々 今ヤ國歩益多事 濁惡法滅ノ秋此ノ大儀ニ參シ我正義軍ノ 創定團旗ヲ拜ス 歡喜充徧身默セント欲スルモ得ズ 茲ニ 謹テ禪身ノ赤誠ヲ捧テ聊カ奉讃ノ辭ヲ述ブト云爾 南無妙法蓮華經

- 一金貳拾五圓也 東京 戸波 辰三殿(即納)
  - 一金貳拾五圓也 全 宮下きく子殿(入金)
  - 一金貳拾五圓也 全 八木シゲ子殿(入金)
  - 一金參拾圓也 全 白井 勢市殿
  - 一金參拾圓也 全 津川 英吉殿
  - 一金拾圓也 全 中村 藤吉殿(即納)
  - 一金參圓也 全 前園 かん子殿(即納)
  - 一金拾五圓也 前橋 和泉 桂之助殿(入金)
  - 一金拾貳圓也 東京 小川 吉助殿(即納)
- 申込總計金貳萬〇壹百參拾六圓也  
既收累計金貳千九百五拾八圓也

品川妙國寺に於ける

日蓮聖人御遠忌大法要並ニ本堂庫裡 其他改築落成式及日生上人建碑式

舊曆十月十三日御會式の當日をトして、日生上人の御住寺であつた妙國寺に於て、冒頭の大興が合修せられた。氣遣はれた天候も前例の如く夜雨密々内外の一洗に、塵埃も留めず極めて清淨莊嚴の觀を呈した。

し、準備完ふして午後一時、五十餘名の愛くるしい天人姿が、木遣の聲も勇ましく轟々として數十名の附添ひ等々美々しく妙國寺へ到着した。沿道は人垣で青年團の骨折も一方でなく、境内には十一時頃から混雑を呈し、漸く午後二時今成橋大僧正五十餘の僧員と俱に大導師としてこの難遣の大法要開始された。隨經數華種兒の獻華問答行導型の如く終つて日誓上人の

誦 誦 文

謹而奉勸請本門壽量之本尊 南無開迹顯本法華經中 常住一切三寶護法護國諸天善神等來臨影嚮悉知照覽 アラセ給へ  
干茲鳳凰山一會ノ大衆ト俱ニ清淨ノ丹精ヲ抽テ三箇ノ梵鐘ヲ鳴シ 立正大師六百五十遠忌天童音樂大法要ヲ動修シ報恩謝德ニ擬シ奉テ併而故本多日生上人建碑式並ニ當山本堂庫裡等落成式ヲ兼修シ以テ報恩ノ赤誠ヲ發キ法悦ノ至情ヲ表シ奉ル 仰願大慈應鑒ヲ垂レ御納受アラセ給へ  
伏而惟ルニ 立正大師佛誡ニ應ジ命ヲ皇統一系ノ我日東聖帝國ニ降シ生ヲ億兆一心ノ因縁ヲ戴セル一乘經王流傳ノ邦土ニ誕レ給ヒ血淚點々大道法ヲ建設シ弘教聖化普ク一四天下ニ及ビ弘安五年十月十三日武州池上ニ於テ涅槃ノ相ヲ粧ヒ正法治國ノ要道ト萬年

破開ノ徳教ヲ遺誠シ寂然トシテ滅ヲ現ジ給フ 爾ヨ  
リ已來春秋當ニ六百五十年也矣

情々宗祖一期ノ妙行意趣ヲ案ズルニ其旨洵ニ遠ク其  
歸洋七ニ決シ焉即チ神儒佛ノ三道ヲ統整シ國民志藻  
ノ淵源ヲ明ニシ三秘ノ大法ヲ提唱シテ信教ノ歸結ヲ  
示シ王佛冥合ノ深義ヲ道做シテ聖賢ノ進路ヲ啓キ知  
法思國ノ法贖ヲ揭ゲテ民人指導ノ統帥ト爲シ以テ濟  
世度生ノ願行ヲ達シ實現ノ先序ト成シ而シテ一  
天四海皆歸妙法ノ聖意ヲ存シ給フ 嗚呼偉哉一大ノ  
法理正明透徹畢生ノ化儀雄偉絶大ソノ構想法義ノ淵  
底ト玄宗明教ノ極地ハ尙ホ綽然トシテ測量ス可ラザ  
ルモノアル也焉 門下齊シク精勵シ亦努メン哉  
先代 聖應院日生上人廣ク經釋ヲ研鑽シ能ク宗祖ノ  
元意ヲ把ヘ以テ其正統ヲ傳弘シ法水ノ涸濁ヲ慨ス法  
庭開講止ニ壹萬座 又等身ノ遺作ヲ著ス其功讚ス  
ベク其德歎スベシ建碑供養亦所以アリト謂フベシ  
矣  
曩ニ今秋 立正大師御遠忌謝恩ノ爲メ當山ノ大造營  
ヲ劃策スルヤ淨財喜捨忽チ貳萬金ヲ超ユ乃チ工事其  
緒ニ就ク幾何ナラズシテ速カニ遷化セラル不肖日誓

皇紀二千五百九十一年十一月廿二日  
大陰曆宗祖御會式聖日

妙國寺法務擔當  
妙滿寺第二百七十世貫首  
權大僧正 今 成 日 誓 敬白

續いて起る百雷の如き立廻和唱の響は滿山爲めに妙法化せんする  
か、嶽山爲めに天華散んならんらんか。

御遠忌大法要に連續して改築落度式典舉行され、普請奉行者棟原豐  
次郎氏への感謝狀授與式あり、當日を祝賀して文學博士崎正治氏  
文學士加藤文雄師及神戸藤井本光師等の祝電並に統一團體會を代  
表して磯部滿事氏の寄語を略叙せる祝辭朗讀ありて極めて盛大嚴肅  
に式典を了へ一同退座、更に 日生上人建碑式場に到り、石工中島  
寅松氏へ感謝狀授與に次で、同師會代表河合彰明氏の言上文誦讀あ  
つて當日の大法要兼修は滞りなく畢つた。

直ちに拾遺使の餅投が始まり、さしも境内も身動きならぬ迄の  
股賑を極めたが、幸に何等の事故もなく滿人法悦に仕する喜を見  
た。

引續いて講演會に移り、秋澤吉藏氏の「挨拶」に次で、「國難ニ立正  
大師」小林一郎氏の妙辯、「日蓮聖人の信仰と其業績」と題して關田  
日敬師の廣長古珍つて直ちに清興として時局に關聯せる十數卷の映  
畫に、約壹千の觀覽衆、滿月の光を浴びつゝ、大多數は訂立し熱心に  
時々拍手起つたのは、時節柄とは申せ感激せしめられた、全部終了  
したのは九時を過ぐる十五分。當日の人数は壹萬と稱せられ未曾有

法務擔當ニ推サレ總代秋澤吉藏 市川箔十郎 柴田  
武治 神原覺次郎ノ諸氏ト共ニ 日生師計劃ノ遺業  
ヲ承ケ協心協力其進歩ニ勵ム特ニ神原氏ノ如キ設計  
及ビ監督工事作業等挺身奉行シ月ヲ閱スルコト十有  
三其信義護法ノ赤誠ニ至リテハ寔ニ賞スベキ而已  
於爰十一月十二日堂宇ノ整美 客殿ノ雄大 齋堂ノ  
偉觀等全山ノ莊麗且ツ森嚴ナル面目頓ニ一新セルヲ  
見 干茲 立正大師非滅現滅ノ聖日ヲトシ敬テ大寶  
塔ヲ建立シ以テ立正大師ヲ追慕シ奉リ恩山ノ一塵  
徳海ノ一滴ニ供ヘ奉ルモノ也

竊カニ現下世運ノ狀勢ヲ洞察スルニ今ヤ思想ノ動搖  
甚シク滿蒙ノ風雲極メテ急ナルモノアリ内憂外患其  
變轉復々測ル可ラズ 立正大師當年ヲ追懷シ感慨ノ  
狀轉々禁ズル能ハズ門下道俗共ニ聖祖弘教ノ精神ヲ  
新ニシ宗風發揚ニ資シ以テ内ニハ民心ノ歸正ヲ促シ  
外ニ國威ノ光顯ヲ期シ立正安國ノ大篇ヲ掲ゲ宜シク  
大自覺ヲ喚起セシムベキノ秋也  
欽而請ラク者三寶諸天別而 南無日蓮大聖人哀感納  
受所願成滿ナラシメ給ヘ  
仍而諷誦文一章如件

の盛況であつた、是れも偏へに 聖應院日生上人の偉徳の然らしむ  
るものと暗涙潸々禁じ得ぬ、唯、南無妙法蓮華經

日蓮大聖人 大法要  
六百五十遠忌

日蓮聖人が御入滅せられたのは弘安五年十月十三日で歲月は流れて  
正に六百五十年になります。時は移り世は變るとも聖人聖生の主張  
であつた立正安國の大義は永遠に世の闇を照す法燈であります。聖  
人一代の活動は聖人自ら仰せられた如く

「日蓮は生年三十二より今年五十四に至る迄二十余年の間、或は  
寺を追はれ或は處を逐はれ、或は親類を煩はされ、或は機打にあ  
ひ、或は合戦にあひ、或は惡口數を知らず、或は打たれ、或は手  
傷を負ひ、或は弟子搜捕を殺され、或は首を切られんとし、或は  
流罪兩度に及べり。二十余年の間一時片時も心安き事なし。是れ  
偏に身の爲にあらず、君の爲、佛の爲、神の爲、一切衆生の爲な  
りしと

嗚呼吾等聖人の遺教を奉ずるもの乎てか感慨無量たらざるを得ん  
や、茲に大聖人の御遠忌を迎へて聊か御報恩の微意を表し併せて異  
体同心に祖道の光顯と皇猷實贊の爲に左記の通り 大法要を虔修致し  
ます。業務の多忙に當る事です。大聖人の六百五十遠忌は、再び來ま  
せん。何卒万障御縁合せ多數御訪ひ合せて御參詣下さらん事を切に  
希ふ次第であります。

昭和六年十一月十二日晝夜

午後一時より報恩大法要

大導師權大僧正 誦語文 笹川日堂台 下

法話日蓮聖人を追慕す 金光孝碩師

記念 塚 影 日蓮聖人傳 琵琶講談 以上 未曾有の盛會なりき

夕飯 供 養 天王寺區生玉前町

午後七時より法要並に大講演會 市電上木町八丁目西へツキアタリ

大導師本山部長 川崎英照師 堂 閣 寺

### 秋林寺御遠忌事報

秋園なる十月初一日より三日間山口縣の奥地秋林寺に於て宗祖六百五十遠忌大法要を執行。此間三日共に快晴夜は群星空に滿ちて晝夜の別なく内外普く光明至らざるなし。教區管事紀野日事上人、大導師となつて登壇講師として超海朝鮮より横山基止上人の參登を得て錦上花を添へ兩師の迎ぎに高悦を禁じ得ざる寺檀の喜色一敷の中にある。永年の病體を擲して一途宗祖への御奉行の熱誠に燃ゆる此山の情主三須老山主の不惜身命の奮闘振りに見る者をして思はず涙ぐまじむる。

連夜法要を嚴始す。終つて「教理の實證」の題下に横山師萬傾の體験談を妙線に遊めて談義實に二時間講演題下に言がすして實動理如酒々富樓那の辯は滿堂を展して感涙裡に淨行一夜の夢に入る。

動め「修造と佛徒の現状」の題下に横山師前夜の衆器に傾ひ深更迫るも新氣勃々として聽衆片睡を吞む。

### 統一團本部特別講演會

新しくして極めて熱烈なる御遠忌の模範的大浮業の幕を閉じた。誰か忘れん哉此の秋を！蓋し志國的危險思想の四海を襲ひつゝあるの時日蓮主義を標置して立つ權威者の一徵せる實談論はよく天晴地明の眞理を知らしむるに足るものゝあつた事を確信して大いに心強さを感した。實に意義深き御遠忌であつた。(吉田生記)

十一月三日午後六時より品川妙國寺に於て、時局に鑑み特別大講演會を法思風會と聯合し、且つ在郷軍人品川分會及び品川青年團の後援に依り開催せるが、今回本堂改造せられ擴大されしにも不拘滿堂立錫の地なき迄に來衆充滿せり。定刻礦部滿事氏の開會の辭と共に滿堂の天地に月餘不眠不休の我正義軍將卒の忍難を如何に感謝すべきか、ボール、カツフエーに彷彿する青年なきや、颯爽たる我忍勇義烈の滿堂軍に熱誠なる敬意と後顧の憂なからしめよと激勵一番先づ大衆に緊要味を與へ。夫より「滿堂問題に就て」陸軍次官種佐泰真次中將の言々脚踏より進れる中にも支那人の國民性が如何に我々日本人と大差あるか、又今回の事變は今迄堪忍自重の極最早く我慢の出來なくなりし實情を述べられ、聽衆に發憤せる者多からしめ、

最後の解決は南京政府によるべきを力説され百雷の如き喝采裡に降壇された。聽衆の熱烈聲援により遂に在郷軍人會の利根川久分會長をして左の宣言と決議文を朗讀されるに到つた。

### 寶藏寺御遠忌法要

山形縣地金 寶藏寺に於て 宗祖御遠忌報恩音樂法要を慶修せり (音樂はレコード) 杉の報恩塔を建拜し 總代人五十嵐清彌氏は報恩辭頭讀 檀徒子弟三十五人(櫻花形の記念佩用)宗祖御遺文(利部左衛門尉女房御返事)を誦讀した

十一月三日午後六時より品川妙國寺に於て、時局に鑑み特別大講演會を法思風會と聯合し、且つ在郷軍人品川分會及び品川青年團の後援に依り開催せるが、今回本堂改造せられ擴大されしにも不拘滿堂立錫の地なき迄に來衆充滿せり。定刻礦部滿事氏の開會の辭と共に滿堂の天地に月餘不眠不休の我正義軍將卒の忍難を如何に感謝すべきか、ボール、カツフエーに彷彿する青年なきや、颯爽たる我忍勇義烈の滿堂軍に熱誠なる敬意と後顧の憂なからしめよと激勵一番先づ大衆に緊要味を與へ。夫より「滿堂問題に就て」陸軍次官種佐泰真次中將の言々脚踏より進れる中にも支那人の國民性が如何に我々日本人と大差あるか、又今回の事變は今迄堪忍自重の極最早く我慢の出來なくなりし實情を述べられ、聽衆に發憤せる者多からしめ、

### 決議

開會の之辭 五十嵐長藏氏 禮を言ふてはなりません 尋六 五十嵐 並君 忍い事をするな 尋四 五十嵐 謙君 何事も片寄つてはなりません 尋六 清野ヘルエ嬢 自界叛逆難他國使運難 住職 村田 義本師 閉會之辭 五十嵐善藏氏

續いで「滿堂より歸りて國民に告ぐ」と題して貴族院議員井上清地男の今回實地踏査されし滿鮮の實情と、支那人の性格等を述べられ

一、我國滿蒙及び支那本土に於ける重要事件の根本的解決を得るまで現地に於ける積極的指導と防衛の地位を益々確保する事を中外に聲明すべし  
二、支那本土に於ける排日教育と排貨検査等



の暴行を徹底的に取締らざる支那政府は善隣の交誼と國際儀儀に悖れるものなる事を中外に宜明すべし

三、我國は國際聯盟の離脱を賭するも東亞全局の歴史と支那現下の狀勢に認識盲目なる國際聯盟に對して積極的に指導變遷すべし次に閉會の辭をかねて知法恩國會理事長柴田一能師は、前理事長本多日生上人の遺志を承繼して自分の起てること、此國家多事の際に吾等異體同心にして知法恩國 正法治國に邁進すべく諸氏の會浄業に共鳴後援を切望され、大拍手を以て午後九時四十分極めて盛會の幕は閉じた。

### 通信欄

十一月十七日小欄にて

志摩丸船長

若見實太郎

統一團 確部源事棟  
合家時下向寒の候に御座候處益々御健勝にて邦家の爲に統一團興隆に御盡下され候段慶賀の至りにて感謝に堪へず候  
我國現下の狀勢は内外多事多難にして思想界

之を以て我が「統一誌」の表紙をなせる又意義深き哉、而もその美はしく氣高く清らかなる表紙は三十有餘年の長く古き歴史を持ち、本多總裁の主筆にして繼續し來りしその名譽、出版界にも宗教誌として相當の權威を有する本誌、現在に至る長年月の間本誌を通じて導かれたる士女それ幾何なるぞ。本多現下の御奮闘の跡もこの統一誌の現在に繼續せるを見ても明らかである。現下の志は一貫して各宗の統一にあつた。本佛釋尊の教法は末法の衆生をして宗教的に迷信に入れんとしして説かれたものでない。又末法に於て雜亂を望んでの教法でも勿論ない、「無量義は一法より生ずし」なるが故に門下の各派は統一されて一法正法の弘布に邁進せねばなるまい。之が爲めには一身を掛けて法脈を續けられた本多現下こそ宗教界に第一人者の名を有する人である。生師の力戰奮闘實に我々その話を聞いても奮起せねばならぬ覺悟を抱かせられる。我々は眞の宗教家として本多現下をお慕ひする者である。一切を投げ打つて唯正法の弘通に力められ六十有餘歳を以て此土を去られた生師の御遺業を承繼して進まねばならぬ。然るに生師の生前重々の御教恩に預り乍らもその大恩を

は混亂して反宗教運動さへ起るに到り誠に深憂に堪へざる所に有之我統一團の責任愈々重大を加へたる事を痛感致居候

此重大の秋に當り日生上人の御遷化遊ばされ候事は返へすべしと遺憾至極にして天を仰いで長歎し茫然自失致申候  
然れ共上人の御遷化は不肖私達の悔念の心を覺醒せしめん爲に外ならずと存候へば御遷化に對して茫然自失しては申譯なき次第にて今後一層統一團の興隆に盡す統一團の使命を全ふする事に最善を盡してこそ上人に對する報恩の一途と存候  
今回有力者の方々に依り組織を財團法人となして大いに活動せられんとしたる事に誠に有意義にして時宜に遇したる事と歡喜に堪へず感謝致し居候

日蓮聖人は日蓮の有無に依りて日本國は有可しと仰せられたるがそれと全しく統一團の有無に依りて佛教はある可しと云はざる可からずと存候反宗教運動撲滅は統一團の活動に俟つより外無之事と存候而して統一團の主義主張は日生上人の主義主張を其まゝ寸毫たりとも變更す可からずと存候此主義主張を以て統一團を擴大強化し佛教の混亂を統一して反

忘れ生師の晩年に於て、且つ御遷化後には於て恩師の教訓を忘れ、恩師の遺志に背くが如き態度を生ずるに至るものあり。權門に阿諛する何ぞ忘恩の甚しきや。大も三日伺へば三年の恩を忘れずとか。いはんや大に優る人間が萬物の靈長と仰がるゝ人々が大にも劣るもの考へて見れば情ない次第ではないか、殊にこれが佛教を説き聞かすべき役割を持つた僧侶に多いとは、再び驚かざるを得ない。  
佛教に於ては四恩を教へ宗祖も「不知恩の者は」云云との言あり。恩に關しては宗親自ら親を思ひ師を思ふの念切なりしは恩親の今尚存するを見ても又師導善法印に對する孝養等その傳記を通じても報恩の念厚きに感激させられるのである。恩を説くは佛教の特徴であり本位である。恩を忘れ唯寺院問題懸問等々に汲々としてゐるは報恩思想を説く人間となすべき事にあらず。見よ！一寺の住職病みぬれば直ちにその後任住職の運動を起す如き表には出されども聞中ひそかに行はれつゝある事實である。餘りにも漫問しき考へてはなにか、法滅盡か、寺院の奪ひ合ひ議員の選舉に於ては俗に於けるも變り無く外から眺めた時の眺望は如何なるものであらう。宗教家

宗教運動を撲滅せざる可からずと存候十一月三日明治節の佳節を卜して國旗奉獻式に誠に有意義なる事と喜び居候  
尙ほ一日も早く總裁を推戴する様切望に堪へず候統一團總裁は人格高邁にして識見高く日生上人の主義主張を忠實に熱烈に實踐履行するの人士ならば僧俗を問はず何人たりとも差支へなしと存候  
何卒一層の御盡切に御願ひ申上候  
本日輕少ながら金三十圓也財團法人統一團寄附行爲案第十二條に依り振替郵便を以て御送金申上候間何卒宜敷御取計ひ下され度御願申上候  
南無妙法蓮華經

### 生師と「統一」誌

日暮 光道

自雲の欄引く所に光々と輝き出づる太陽、「統一」の一字を現せる太陽！。實に太陽は萬物の根源をなす。彼の光なくんば草木山川萬物萬象一として生存する能はず。一の太陽は能くあらゆる社會を照らして、その實と富と強と弱とに關らず一切を平等に救ふの形なり。

は宗教家らしく空世間と變つた所がなければならぬ。頭を丸めて衣を着たのが僧じやない。如何にも宗教家だと俗間に感服させる様にその模範を示してこそ世人を指導すべき力を持つた宗教家である考へる。速やかに醜きを排して恩に感じ清らかなる美はしき宗教家たらんことを望む者である。この點に於て特に自分は 故本多大前正現下をお慕ひするものである。現下は始めに申せし如く唯法の爲め國の爲め一身を掛けてその每一生を終られた大豪の人であつた。現下の遺志を尊重せよとして眞の宗教家たることを力めよ 生師の願中には寺院の奪ひ合ひ選舉の云云等の考へは欲塵もなかつた、醜くき考へは毛頭なかつた。現下の口より出でたる「立正安國」知恩報恩の言葉こそ何より力強き眞實の語であつたのだ。自らも行ひ又他をも指導する人であつた。然るに今や多くが表面に菩薩をよそほひ、内心夜叉の如き最も恐れねばならぬ事の夥しいは何たる事ぞ、反宗教運動の起るは當然である、義憤禁ぜずして下手な文章を統一されぬ顔で書いたのだ。頭に出て來る事を飾りなく拙なき筆で叩きつけた純信な初心の者の心の中だ。よろしく惡化せしめな

いて純粋に生立しめさせて頂きたいと念願する。一一、一七稿

謹啓陳者  
 貴誌本月號四十五頁上段八行に井村上人は統一閣は宗門の金で建てたと申されたる由御揚敷に候も現在統一閣と言ふ建物は盛泰寺の本堂にして統一閣とは其別名に過す謂はゞ寄生的のものであり該の本堂は盛泰寺が所有財産を担保に供して日本勸業銀行より四萬圓を借り受け此金を以て岩手縣釜石町に在つた活動寫眞館を三萬四千圓百圓で買ひ來りて建てたものであり又區別整理に因る改修には復興局より壹萬千七百三拾七圓廿五錢を受けて現狀を保ちあるものにして壹錢たりとも宗門より出金したる者なし依之井村上人の故意手誤り手知らずと雖も事實無根に付次號にて御訂正を希上候 敬具  
 昭和六年十月廿六日  
 盛泰寺  
 檀家總代人

統一閣編輯局御中

團費誌料領收

自昭和六年十月三十一日  
 至全 年十一月二十日  
 大金 大阪 遠藤實 照殿  
 札 櫻 本 澤隆 正殿  
 新潟縣 川崎 ぎん殿  
 東京 本 田 健一殿  
 一金壹圓貳拾錢也  
 一金拾貳圓也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金參圓也

一金貳圓五拾錢也  
 一金參圓也  
 一金壹圓貳拾錢也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金貳圓也(御寄附)  
 一金壹圓貳拾錢也  
 一金五圓也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金貳圓也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金貳圓也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金壹圓貳拾錢也  
 一金四圓也  
 一金壹圓也  
 東京府 春山幸十郎殿  
 東京 若林よれ殿  
 全 馬田平藏殿  
 岡山縣 長谷川貞親殿  
 東京 木村日保殿  
 大阪 片岡しづ殿  
 靜岡縣 石井日省殿  
 東京 稻葉榮之輔殿  
 大阪 増田智雄殿  
 岡山縣 長谷川貞親殿  
 名古屋 荒川てう殿  
 神戶 延廣純 靜殿  
 秋田縣 加賀谷徳治殿  
 東京 高階虎治郎殿  
 大阪 水野榮子殿  
 和歌山縣 泉並鐵次郎殿  
 淡路 吉岡正太郎殿  
 東京府 山本峰太郎殿  
 大阪 東峰太郎殿  
 愛知縣 本常寺殿  
 東京 笠原銀次郎殿

一金六拾貳錢也  
 一金貳圓貳拾錢也  
 一金四圓拾錢也  
 一金四圓五拾錢也  
 一金四拾錢也  
 一金參圓參拾錢也  
 一金拾六圓也  
 一金四圓拾錢也  
 一金參圓七拾錢也  
 一金參拾四圓拾錢也  
 一金四圓五拾錢也  
 一金壹圓貳拾錢也  
 一金壹圓也  
 一金四圓五拾錢也  
 一金參圓參拾錢也  
 一金四拾錢也  
 一金參圓拾錢也  
 全 大阪 重貞 次殿  
 京都府 大槻秀三郎殿  
 愛知縣 山本金太郎殿  
 靜岡縣 佐原伊平殿  
 東京府 中村清作殿  
 千葉縣 山田善之丞殿  
 福井 兒玉日見殿  
 東京府 増山得三郎殿  
 全 諸岡甲松殿  
 盛岡 研究會殿  
 茨城縣 本國善之助殿  
 大阪府 深田萬壽徳殿  
 神戶 熊井本光殿  
 東京 新田日註殿  
 神奈川縣 山北求道院殿  
 奈良縣 出口馬太郎殿  
 東京府 御厨正幸殿

右難有入帳仕候也

「統一」會計

御注意

一、團費、誌料は總て前金に願ひます  
 一、前金切又は前金未收の御注意を致して二ヶ月に及ぶも御拂込なき場合は乍遺憾御送本見合せます  
 一、集金郵便は金三圓以上にて其取立には團費誌料の上に金拾錢の集金料を添加致します  
 一、御轉居の節は必ず新舊双方を明記御通知下さい  
 一、御照會には可成返信料を添付して下さい

# 絶好の機會!

大僧正故本多親下最近の名著四種左の通り特價提供す  
吉凶共に此等の贈答は自他の法益極めて甚大ならん  
部數に限りあれば品切れとならぬ間に即時御申込あれ

- 一 法華經要義  
定價 金 參 圓  
送料 十 四 錢
- 一 日蓮主義心髓  
定價 金壹圓八拾錢  
送料 十 錢
- 一 日蓮主義精要  
定價 金參圓五拾錢  
送料 十 六 錢
- 一 日蓮主義本領  
定價 金貳圓五拾錢  
送料 十 二 錢

今月中に限り一部賣は二割引 送料は實費を申受く  
藏部滿事謹料

一本多日生上人 實費願有

申込所 「教」 發行所  
東京市外南品川町妙國寺内  
振替東京一〇九四〇番

價定一統		
一	牛	一
ヶ	ヶ	景
年	年	景
金貳圓貳拾錢	金壹圓貳拾錢	金貳拾錢
送料共	送料共	送料五厘
事之	金前	事之

料告廣一統		
四	半	一
分	頁	頁
一	頁	頁
頁	金	金
五	九	拾
圓	圓	圓
事之	金	前

昭和六年十一月廿四日印刷給本 (第四百四十一號)  
昭和六年十二月一日發行

不許複製  
編輯兼 發行所 統 一 發行所  
編輯人 磯 部 滿 事  
印刷人 鈴 木 日 雄  
印刷所 東京府荏原郡品川町南品川百八十一番地  
電話高輪六〇二四番

編輯事務ハ發行所ニテ取扱フ  
東京府荏原郡品川町南品川四百十二番地  
振替東京五一〇七一番